京城日報

一月七日夕刊 (朝夕併せて八頁)

發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介

◇講和特別委員會 報告書を本會議に移牒

講和會議は獨墺問題、巴爾幹問題、露西亞問題、波蘭問題、財政經濟問題等各項目に從ひ各特別委員會にて審議す可く又各委員會は巴里に置き其報告書をヴエルサイユに於ける本會議に移牒する筈なりと就中國際聯盟問題は最も愼重を要する問題なれば特別委員會には佛國前首相ブルジョア英國前外務次官ロバート、セシル卿加はる可く尚聯合國にて準備條件を決定し獨墺の代表者を參加せしむ可し(巴里電報)

◇豫備會議は四ヶ國 極東に於ける我海軍の任務重視

講和豫備會議は結局英、佛、米、伊四國間の會議とし他の聯合國は自己に密接なる關係ある問題に對してのみ協議に與かる可しと尚一新聞は戰時中極東に於ける日本海軍の主要なる任務も閑却す可らざるものなりと論ぜり(巴里電報)

◇聯國自ら差別あり

佛國タン紙は論じて曰く同じく聯合國と云ふも英佛米伊日五個國と他國とは相當差別あるは勿論にて其全權委員數に於ても差別を見る可く大國は總ての問題を通じて論議せざる可らずと(巴里電報)

◇日米仲裁々判期間延長協約 ＝外務省發表＝

六日外務省より日米仲裁々判條約有効期間延長に關する協約發表せられたり(東京特電)

日本 皇帝陛下の政府及び亞米利加合衆國政府は明治四十一年五月一日兩國政府間に締結せられ而して大正二年六月二十八日締結の協約に依り延長せられたる仲裁々判條約の有効期間を更に五箇年間延長することを希望し是が爲め亞米利加合衆國駐剳特命全權大使子爵石井菊次郎及び合衆國々務卿ロバート、ランシング間に本協約を締結することを委任せり

第一條 日本國 皇帝陛下の政府及び亞米利加合衆國政府間に於ける明治四十一年五月一日仲裁々判條約は同條約第三條に依る批准書交換の日より五箇年間有効と定め其期間大正二年六月二十八日兩國政府間協約に依り同年八月二十四日より五箇年間延長せられたる者なる處更に同協約の効力を大正七年八月二十四日より五箇年間延長し其間引續き有効なるものとす

第二條 本協約は日本國皇帝陛下に依り及び元老院の協贊を經て亞米利加合衆國大統領に依り批准せられたる批准書交換の日より其効力を有す批准書交換は成るべく速に華盛頓に於て是を行ふべし

大正七年八月二十三日華盛頓に於て英文にて本書二通を作る

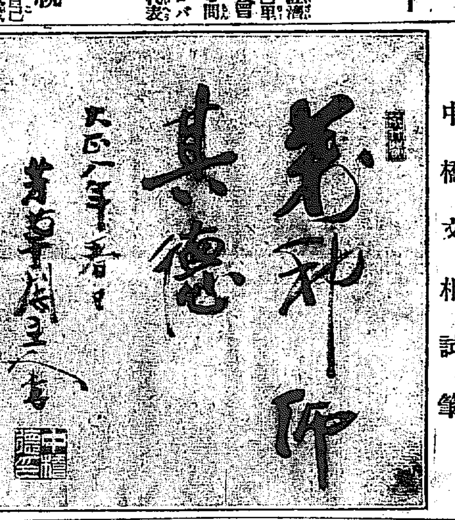
石井菊次郎 署名
ロバート・ランシング 署名

◇波蘭軍前進防禦

コペンハーゲン來電＝伯林よりの報道に據れば獨逸陸相は第五師團に命令し國境を經て前進し來れる波蘭軍に當らしめたり波蘭軍は既にフランクフルトを占領せりとも傳へらる又一說にはワルソーの波蘭政府は波蘭全國に動員令を下せりと(東京特電)

◇コルチヤツク提督重體

浦鹽來電＝全露最高執政官コルチヤツク提督は肺炎にて重體なりと(東亞特電)



中橋文相試筆

◇豫後備凱旋に就て 西伯利出征軍元氣旺盛

陸軍少將中島正武氏は六日朝浦鹽より門司へ進下關に上陸し山陽ホテルに休憩の上同七時十分發東上せるが同少將は語りて曰く今回聯隊後備並に不用軍馬の凱旋に就ては補給輸送の困難に加へて露國の物價を騰貴せしむる等の關係あり又右凱旋に關しては露國側にも列國側にも頗る歡迎せられ居るものの如しコルチヤクとセミヨノフの確執は目下調停せられつつあるが多分融和するに至る可し尚同地方の寒氣は頗る凜烈にて積雪六尺餘に達せるが幹部連を始め下士卒に至る迄元氣極めて旺盛なり(門司特電)

◇白隱元豆暴落 輸出禁止說

白隱元豆輸出禁止說あるより清津輸出品の大宗たる同品は大暴落を來して相場立たず當業者耕作者の蒙る打擊甚だしきより右の狀態を總督府に陳情の爲め清津より藤井後藤の兩氏五日安平丸にて京城に向へり(清津特電)

◎潜水艇破壞艦 將來の研究問題

世界大戰に於て獨逸が極度迄利用しようとした潜水艇は、意外にも何等其の効を奏しなかつたといふことが一面から云へよう。啻に効を奏しなかつたのみならず、徒らに米國の參戰を促し、且つ今や休戰條約成立し軈て平和會議に入らんとしつゝある、其の時に際し獨逸が、徒らに國際公法を無視して加へたる物質的

▲損害の報償を 課せらるるに至ることは當然のことであらう。さすれば實に潜水艇の横暴に對する報酬は獨逸にとりては實に多大なものではあるまいか。然し若し獨逸潜水艇にして水上大型艦の如き容量と威力とを有してゐたならば、全然之に反せる結果を來たし、獨逸は全世界の憤怒を買はず、却つて協商側の貿易は阻止せられ彼等の間に制海權獲得の競爭は劇甚に行はれ尚ほ露西亞の背逆後に於ては、聯合國は最初危殆に瀕したであらう。是に於てか將來艦船は、大型潜水巡洋艦であると言明するのは、一見容易なるが如くであるが、之を熟考したならば必ずしも然うで無いやうである顧ふに如何に完全なる

▲機關を据付 るとしても潜水艇は其の操作が非常に困難であつて、撰拔した少數乘込員が長期間に亘つて訓練せられた後初めて完全なる操作を爲し得るものであつて、一萬噸及び其れ以上の艦艇に要するが如き多數定員に對し適任者を以てするは到底困難なやうである。然り今日に於ては既に潜水艇の時代は過ぎたといつてよい。戰前に在りては敵戰艦に發見せらるゝことなく戰鬪し得る水雷發射艦を目的として居つた。將來に於ても現在のやうに制海權は戰艦によりてのみ獲得せらるゝや否やは頗る疑問で、多數列强が更に有効にして出費少き

▲解決を製艦上 に求むるやうになることは必然のことである。啻に敵艦の航行を阻止するに止らず自らも亦航行することの出來るものでなければならぬ。此の意義に於て潜水艇破壞艦は潜水艇よりも一層重要である。然し此問題は頗る複雜であつて該破壞艦其れ自身も水面敵艦に對し保護の必要がある爲め結局裝甲の問題に到達するであらう。而して尚ほ此潜水艇破壞艦は、將來一層研究さるゝに至るであらう。今春の講和會議に於て果して彼の國際聯盟軍備縮少などといふことが、何程の程度迄實現さるるに至るかは知らぬが以上述べしが如き戰術上のことは、將來とも、何時までも其研究は忽にすることは出來ぬであらう(東京支局)

◎總督兩宮訪問

長谷川總督は六日午後二時三十分東條武官及び藤波通譯官を隨へ昌德宮に李王及び同妃殿下を訪問し新年の挨拶を爲し次いで李鍝公李堈公を訪問し德壽宮に李太王殿下を訪ひ同樣挨拶を爲したり

◎辭令

今般左の通り辭令ありたり

總督府判事 岩本以明
同 石川正
同 城數馬
同 鈴木伍三郎
總督府判事懲戒委員を命ず
總督府判事 楠常藏
同 永沼直方
同 塚原友太郎
同 伊東淳吉
總督府判事懲戒豫備委員を命ず

◎鮮鐵改善協議

滿鐵京城管理局に於ては久保局長安藤川江大內黑澤各課長參集六日より本年度鮮鐵の施設改善に關する協議を行ひつゝあるが決定次第漸次實行に着手すべしと

◎植民地と言論機關(一)

元中樞院書記官長 中外新報社社長 小松綠

曾て床次內相の招待會に出席した時に、內相の挨拶に文明と寬大なる撰度――寬度とは自由の中から發生する、然し其の所謂自由とは放縱といふ意味では無く秩序ある

▲節制ある自由 といふので此の自由は自分の最も尊重するところであるといふ言葉があつたが言論寬度といふ意味も自由の意志から發した言論は文明の進歩及び寬度の發成に與つて力あると言へる。しかし此の自由といふもの、定義は頗る廣汎なものであつて己の自由を主張せんために他のそれと衝突した場合には自ら讓るか或は他を排するかの途しかない。他を排する時には自由變じて横暴となり自ら讓るところ他の自由を尊重する意味が生ずる。茲に自由の分量に就いて考へるに己が一寸他人が同じく一寸の自由を持ち此の二つの

▲分量を二寸の 幅に當て篏める時は衝突が無いが若し一寸の空間しか無い時これをあてはめるには何れかを排しなければならぬ、その場合に排されたものは壓迫があると不平を唱へ、排した方では第三者から横暴と見られる。かかる時には五分と五分とを讓り合つて當てはめなければならぬ。政治に、社會上、經濟上に於ても個人の自由を容れる面積は頗る少い故に各個人が充分の自由を主張する時は其間直に衝突を見る、各個人がその幾分を讓り始めて狹い面積の上に相協同することが出來るのである以上の所論が母國に於ける場合と植民地または領土に於ける場合と如何なる關係を有つかと言ふに植民地又は

▲領土に於ける 場合に比して母國に於ては自由を振ふ面積が廣いのは一般の實例である。これは大體、本土に於ては社會進步し人知拓けて居る故に自由もだんだん擴張されて居る。植民地又は領土に於ては往々凡ての事情が政治的にも社會的にも經濟的にも母國程に發達してゐないためにこれら各方面とも個人の自由を働かす面積は狹いのであるが、差當り本問題に範圍を限り言論の自由に就て講究して見よう

仁林聾仙畫伯試筆

◎郵便貯金獎勵

島田通信課長は遞信管內郵便局所長に對し貯金獎勵に關して通達を發する所ありたるがその要旨を聞くに貯金獎勵に就ては大正六年九月長官訓示の次第もあり各局所長に於て

▲鋭意努力 せられつゝあることゝ思料するも時局の影響に依り各種農産物價格の騰貴勞銀の增加の爲め地方農民の收入大いに增加し加之朝鮮に於ける本年度の米産額は例年に比して豐饒なる上米價暴騰し今や出穀時期に際し農家の收入は租稅其他の公課必要の支出を支辨するも尚充分なる貯蓄の餘裕を存することゝ認めらる其餘財あるに任せ浪費を爲し奢侈の風習を助長するの傾向あり若し斯の如き風潮を以て推移せんか多年の努力に依り漸く改善せられたる勤儉の美風を失ふのみならず一朝財界の變動に依り米價下落せんか年來貯蓄の念乏しき農民は忽ち逆境に陷り遂には

▲衣食の途 を失ふや明かなり依て此際極力勤儉貯蓄の獎勵を爲すは是に機宜の措置たるべしを以て各局所長に於ては此の機を利用し地方官憲と協議を遂げ大に郵便貯金の獎勵を爲し以て一面農事改良の資と爲さしめらるべく特に目下舊年末に近く一般鮮人の最も多く金錢を使費するの時期なるに依り各局所長に於ては繁忙の折なるも執務上支障なき限り局員協力の上貯金獎勵に一般の努力を爲し其効果を擧ぐる樣獎勵す可し

◎雜穀禁輸と朝鮮

問題は北鮮の隱元豆

雜穀の輸出禁止は政府の米價調節の一策として近く實行せらる、模樣なるがその結果朝鮮の受くべき影響として某銀行家は曰く雜穀輸出禁止の結果朝鮮にて直ちに不況を現出するは北鮮並に間島生産の隱元豆なるべし既に禁輸の豫測は價格の上に現はれ居れるやの觀もあり何分隱元豆は昨年の清津積出額約三十萬圓上り地方の生産品としては相當の額に達し居りその盛衰は北鮮を中心とする財界に影響を及ぼす事少からず但し小手亡し隱元豆は從來米佛に仕向けられ殆んど日本に於いて需要を見出さゞるに付その禁輸をなすも食料問題上に殆んど何等の効果なかるべく結局政府に於て雜穀の禁輸をなすも隱元豆は除外の特例を設けられずや果して然らば豆價の前途を悲觀する必要なからんか

◎通貨漸次收縮

舊臘三十一日に於て一億一千五百五十二萬圓の發行新記錄を作りし朝鮮銀行券は新年に入つて漸次收縮の傾向を現はしつゝあり即ち四日の現在に於て一億一千四百四十萬圓と約一百萬圓を回收し五日休日六日は一億一千二百九十二萬圓に下降し舊臘末の最高記錄に比すれば二百六十萬圓の減少となりたるが越年の財界各地共平靜なりし如く新春の回收は順調に經過し行くものに似たり

◇ルーズベルト逝去

合同通信電報＝米國前大統領ルーズベルト氏は突然逝去せり原因不明なり(東京至急電報)

◎仁川期米低落

七日仁川期米の三月限は寄附三十四圓十錢高値三十四圓二十五錢止め三十四圓十九錢にて前日大阪後場の下落を受けて場況振はず之れを六日の前後場に比すれば約五六十丁方の低落となれり

◎支那陸軍少將

支那陸軍少將林學濂氏は七日朝釜山上陸北行せり(釜山特電)

◎生井法官部長

朝鮮軍司令部法官部長生井耕造氏は今回廣島第五師團法官部長に轉じ七日夜七時五十八分龍山發列車にて出發赴任すべし

人事消息

◇籠谷明氏(近衞第二聯隊少尉) 七日夜內地より入城

八面鋒

◆巴里に於ける講和豫備會議も、愈々來る十三日より開會せらるべしと、其蓋明きの近付くに從ひ、十四箇條の基礎條件も、稍輪廓を現はし來る。見渡す處聯合國間には、幾多難問題の横はるありて、既に紛に相爭はんとするの形勢を示す。開會と共に大激論を見るは明かにして、各國特使の花々しき外交戰は一段の光彩を發揮すべし

◆第一聯合國間に於ける、衝突の兆を示せるは、國際聯盟也。佛國內閣議長クレマンソー氏の勢力均衡主義は、即ち英、佛、米、伊の同盟にして、同盟を以て、將來の平和に對する、最良の保障物なりと言明せるに對し、米國大統領ウイルソン氏は、マンチエスターに於て、利害關係者の協同政策は、既に打破せられたり、米國は新世界に於て、勢力均衡政策を以て拘束せらるべき、何れの同盟にも加入せずと聲明せり。之れ明かに米佛兩政府間に、意見の相異あるを示すものに非ずや。

◆伊太利とユーゴースラブの難問題も、未だに解決せずして依然たり。外相ソンニノ男は斷乎としてダルマチアの領土獲得を主張して動かず。塞爾維、羅馬尼の領土爭奪問題も、熾烈を極め、希臘も小亞細亞問題に關して伊太利に抗議す

◆日く國際聯盟、日く海洋の自由、日く對露、對獨の諸問題も簇在す。斯く觀じ來れば講和會議の、容易ならざるは勿論、其結果も亦今より却々窺知するをだに得ざる也。

文藝倶樂部新年號

粋の通 物識りのお手本

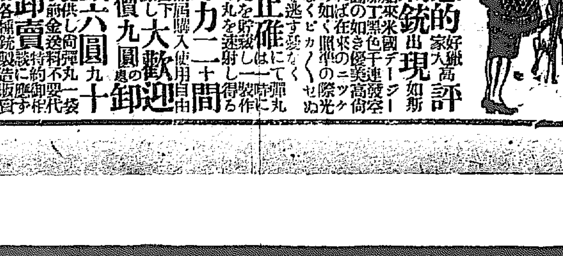
□口繪 宵の春 伊東深水の作
美人の寫眞は天下一
牛七閒堂帳 三河萬歲 岡本綺堂
世間話 ◇兒町往來 株式の稼業振 ◇新式の虎狩 ◇萬歲鶴龜物語
小說 柳橋夜話 吉井勇
□旅硯 高野道 近松秋江
□新作講談 玄達東下り 武田鶯塘
小說 大禮服 巖谷小波
□新作講談 繪踏物語 田村西男
□裁判實話 瞞され藝妓 高橋迎月
花柳界 ◇藝妓成金の贅澤振り ◇花柳界過去帳
(新春)大附錄 新面用浮世榮人輪
(繪)清方畫伯 苦心の作
當春の土俵は如何
第一人者 栃木山
花柳小說 二座敷 岡鬼太郎
演藝界 ◎馬年の芝居 ◎文藝社の復活 ◎珍妙萬歲芝居 ◎道頓堀去年振 ◎演藝已未談 ◎羊に因む活動 ◎起路太夫大入 ◎落語の呼吸 ◎演藝羊頭錄
讀切講談 秀吉の出世 田邊南龍
□官員小說 運命の配
□長篇讀切 雪中の蜆賣 桃川如燕
讀切講談 命の手習ひ 悟道軒圓玉
□滑稽珍話 とんだ珍客 奥野他見男
□近世奇聞 瀧夜叉八 重吉本子筑山
定價金四拾錢 郵稅二錢五厘
東京本町 博文館 振替東京二四〇番
讀物の面白くて愉快なる事誌界無双

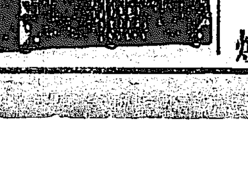
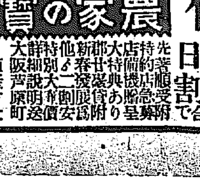
縄貸付機 三錢の日割
農家の寶 千歳號 精米麥機提供
殖産會社

謹賀新年
慶光郡西面牛月里 朴正煥

御旅行に必ず弊店の鞄を
東京芝區櫻田伏見町角 內田靴鞄問屋

醇良清酒
釀造元 大阪府堺市 肥塚源次郎
京城本町一丁目 特約販賣店 佐藤牧次郎



理想的空氣銃出現 好銃家大評
命中正確 彈力二十間
大歡迎 定價九圓 卸賣
大阪市東區上本町九丁目 ミカド商會

大正七年七月一日改正現行

本七日御歸朝の遣英特使宮依仁親王殿下

○七日午前十一時五十八分 特使宮東京御著

米國を經て御歸朝の途に在らせらるゝ東伏見宮殿下は豫報の如く愈々本七日午前九時横濱港に御著の上同十時五十五分岸壁發同十一時五十八分東京驛著の臨時列車にて御歸京遊ばさる(東京電報)

▽妃殿下には横濱に御出迎 ＝御同列にて御入京の御心構へ＝

御歸朝の御路に初日の出を迎へさせられし遣英大使宮東伏見依仁親王殿下には御豫定の通り七日午前を以て横濱へ御入港の筈にて其旨は三日改めて外務省より同宮家へ進達し奉れるが有宮家に就いて洩れ承はる所に據れば『親王殿下には三日を以て西經を離れて

◇東經に入らせ給ひし由を東經何度の海上から感電せし旨無線電信に從ひ外務省から昨日通知がありました若し時間の點も御豫定通りこすれば當日午前十時を以て御入港の筈で在らせられます當家に於ける御出迎へ御待受等の順序に就きましては目下宮內省へ伺ひ中で三日頃には略確定を得るわけでありましたが都合の爲め延引し多分五日中には

◇妃殿下の御出迎へ其他の件まで確定致す事と存じます是亦當家の御豫定通りに運びますれば妃殿下には當日横濱まで王殿下の御歸りを御出迎へ遊ばされ御同列にて御入京の御心構へでゐられます王殿下殿近の御消息は外務省からの進達以外に御詳しい事は判りませぬけれど兎も角非常に

◇御壯健に亘らせ給ふ儀に伺ひまして御留守宅妃殿下初め奉り下々まで御喜び申上げながら御歸朝を待兼て居ります(東京特信)

○昌德宮新年宴 兩殿下御成

昌德宮李王殿下には七日午後零時三十分より李王職高等官、朝鮮貴族、御親戚等數十名を御招待、仁政殿東行閣に於て新年宴會を催されたるが八日は更に王妃殿下の御催しにて同時刻より李王職高等官夫人、朝鮮貴族夫人御親戚夫人等數十名を御招待相成る筈

○面目を新たにした 官報 三段に組み赤紙の汽車時間表を

四日から官報の紙面段數及び廣告料金が改正された從來の一頁二段組を一頁三段詰こなつて大變見好くなつたそれから廣告料金は四號活字一行十七字詰で四十錢五號一行二十二字詰で三十五錢六號一行二十九字詰で三十錢で以上の活字に據らないものは掲載面に應じ六號活字の割合で料金を取るさうであるそれから毎土曜日發行の官報に附錄こして赤紙印刷の全國及び關東州滿洲青島等の列車時刻表を添附する事こなり四日の初刷に先づ之を試みたそれで大正八年からは一般廣告も掲載する事になつたのであるが初刷りにはまだ一般の廣告は無い

□方子女王叙勳 勳二等寶冠章御下賜

畏き邊りにては七日梨本宮方子女王殿下に對し勳二等に叙し寶冠章を賜ふ旨御沙汰あらせられたり(東京特電)

○陸軍始 ―閱兵式

龍山に於ては八日陸軍始に付午前十時より閱兵式を擧行し次いで分列式を行ふべしこの事なるが諸兵指揮官は第十九師團長高島友武中將之れに當るべしこ

▽平壤の陸軍始

平壤步兵第七十七聯隊にては八日午前十時より陸軍始め觀兵式を擧行する筈なりこ

○愛國婦人會の新年宴 百花優しき集りに相應しき食卓にて…

◇七日京城ホテルにて

京城の名流婦人を網羅した愛國婦人會朝鮮支部の新年名刺交換會は七日正午十二時から京城ホテルの大廣間で催された。廣い室では華やかな新年の挨拶が取交されて一頻り賑ひ六十餘の會員が勢揃ひが濟むこ隣室大廣間の食堂が開かれる。中央には雪白の布を敷ふたコの字形の

▽洋風食卓

を設け、その上に並べられたベコニア、ゼラニユーム、萬年青などの草花や盆栽が優しい集まりに相應しい。室の兩端には二輪加こ義太夫の舞臺が設けてある。一同食卓に著くこ先づ博多二輪加こ義太夫で沸き返るやうな賑ひ、それが濟むこ大橋主幹から新年の挨拶及び七年度の事業報告があつて宴會に移り杯を擧けて

▽歡談笑語

の裡に大いに興ぎ、それから又博多二輪加こ義太夫の餘興があつて三時過ぎに散會したが當日出席の主なる婦人は國分司法部長官、三島殖銀頭取、松永道長官、持地遞信局長官、金谷府尹、川上東拓理事、荻田總務局長、大田鮮銀理事の各夫人等であつた

○可愛い子は山へ(一) 登山から受ける教訓 文學士 大町桂月氏談

我輩、朝鮮服こ一緒に及んで滿洲へ御出掛の途に就いた著述家大町桂月翁は一兩日前又飄然こして京城に姿を現はした滿洲入りに著て出たツルマキは今度は袖の長い支那服こ變つて居る、さころが其支那服が又一種の仙骨を帶びたあの風貌によく似付き何處から見ても是が日本人であらうこは迚も受取れぬ位滿洲旅行中は屢支那人と間違へられ一等車から摘み出されたり支那人から言ひ掛けられて返答に困つたり飛んだ笑劇の種子が蒔いたと云ふ、翁は訥々として語つて曰く

私は今日迄多少書物も讀んだが元來旅行好きで餘暇があり且つ軍用金さへ差閊へ無ければ必ず旅行をすることに定めて居る。夫だから私は從來の旅行に依て色々な智識や敎訓をも得ることが出來た。昔の俗諺にも『可愛い子には旅をさせよ』と云ふてある、實際可愛い我子を敎育するには旅行をさせるのが一番

▽善い方法

である。併し其旅行も汽車に乘り汽船に乘ると云ふ安樂な遣り方では可愛い子に旅をさせる趣旨に副はないから今日大正の世の中では今少し範圍を限つて『可愛い子は山に登らせよ』位にしたなら宜からうこ思ふ。今の世の中は便利になつたこ云つても山へ登るのは却々困難である、山が高く大なれば又夫だけ困難も加はる、其困難を凌ぐのが所謂可愛い子に旅をさせる眼目でなくてはならぬ。又

▽德川家康

の遺訓こ稱(以下次號)

支那服を著た大町桂月氏

○東京相撲 幕下新番附

東京相撲の幕內新番附けは既報の通りなるが更に幕下の新番附けを舊番附こ對照して示せば左の如し

東 新	[illegible]
東 舊	[illegible]
西 新	[illegible]
西 舊	[illegible]

○勸彌はまづ大阪で旗擧げ興行

文藝座の爲に努力すべく市村座を去りたる守田勸彌の意思は相變らず鞏固にして愈々二月上旬大阪を振出しに關西地方に旗擧げの興行をする事こなりたるが勸彌は得意氣に語る『關西からもう此文藝座

○私の山登り、また

(ヘ)徹底する所ちやない、室には入つて居らず堂にも上れないが、門に及んだ位の所ではあるかも知れぬ。若し山登りに徹底したならば人世の大道に是を應用して間違ひ無いことであらう

▽大道に達

するものだこ云ふ譯である、所で口では容易く云ひ得らるゝが實際一つの技に徹底することはなか／＼困難である。よく世間の人が堂に上るこ云ふことを口にするけれども彼れが又徹底して居ない、門に及び堂に上り更に室に入る、此三階段があつて世の中の萬事此順序を踏んで進むべきだこ敎へてあるのに單に堂に上る／＼こ云ふのは不徹底なことである

せらるゝもの、習頭にも人の一生は重荷を負うて遠き道を行くが如しこある、遠き道の間には山もあるぞ海もあるぞこ云ふことを頭の中に置いて重荷の旅を考へなければならぬから此の云ひ方は前の俗諺よりも徹底的だ。夫で昔の人の言葉に技道に達すこ云つて居るが大工なら大工、碁、將棋、旅行、山登り何でも一つの技をやり抜いて其技に徹底したならば人世の

○大阪… 新番附 東西入替つて横綱が西方に

大阪大相撲春場所新番附は五日午前十時を以て發表されたり即ち昨年夏場所こ對照すれば左の如し

東方(新)	[illegible]
西方(新)	[illegible]

東西入替つて横綱が西に廻つたのはチョッこ變だけれど横綱が一人の大阪では止むを得ない新東方では宮城山、陣幕の兩大關、關脇の平錦等は元の儘で時の矢、加古川などの復活は然うあるべき筈、新西方では豫定の如く朝日山が大關に昇進して本位に就き小染川は休場の故を以て張出に廻された新進大泉の關脇は大いによし、然し未來ある役こしてはこの位地は保ち難からう、番附を見渡したこころ相變らず顏が變らない、少しばかり編成替を行つたこころに役員の苦心を見せたのみ、新入幕は湊崎、瀨戸山の兩人に嵐山、熊ヶ嶽の兩人は再入幕である

○須磨子 後報

◇兄への遺書◇

須磨子の遺書の實兄米山益三氏に宛たるものは(東京電報)兄さん、私は死にます私は島村先生の跡を追つて行きたいのです、何うか一つ墓所に埋めて下さい、又二人の養女は相當の手當をして夫れ／＼親元へ歸して上げて下さい、左樣なら御機嫌よう

▽遺言に依り 彼の墓へ 埋葬こ決す

抱月氏の遺骸は二階の故抱月氏の佛前に寢かし毛布にて蔽ひ親戚及び本部員一同取閑みて協議中なるが遺骸は遺書に依り雜司谷の故島村抱月氏の墓所に埋葬することゝなりたり(東京)

▽彼女の一生

松井須磨子の本姓は小林正子こ云ひ明治十九年十二月長野縣信濃國松代在の清野村に生れ七歲まで其地で育ち後上田の町に出て小學校を卒業し補修科を修め十七歲の時東京へ出て芝區の戶板裁縫女學校に入り其翌年同郷の某に嫁いだが故あつて其家を去り四十二年內博士の文藝協會の研究所へ入學し明治四十五年の五月に東京で文藝協會が沙翁劇『ハムレット』の公演の初役で爾來專ら飜譯劇の女主人公に扮し熱心に技藝を研究したので今日までの立派な成功をかち得たのであつた島村抱月氏が其妻子を捨て恩師にも背いて須磨子に熱心な保護を與へたのは文藝協會の數役でイブセンの『人形の家』のノラの役を一生懸命に演る迄も深く打込んで研究を怠らなかつた彼女のしほらしい精神に心を引かれたからであるこ

○有馬丸遭難の途中にて 越後丸救助

本月一日咸北富寧郡漁津にて坐礁せる朝郵汽船越後丸救助の爲め五日門司を出港せる日本海事工業株式會社工作船有馬丸二百六十五噸は其後の途中六日慶尚北道浦項附近に於て遭難せる旨急報ありたり右に就ては簡單にして詳細を知る能はざれば目下照會中なりこ

○升巴陸龍氏 無罪になつて

押川事件の元兇なりこ目せられた升巴陸龍氏は愈に福岡地方裁判所にて無罪の判決を受けこれで死んでもよいこ喜び居たるが流行性感冒の爲め福岡市の宿舍に滯在中四日夜死去したり(福岡)

○銅貨…◇が來た 朝鮮銀行へ五千圓

近來補助貨就中一錢銅貨及び五錢白銅貨の拂底で市內各商店は商取引上大弱りであつたが或商店では當座の間に合せの爲め郵便切手を剩錢に代へて居る處もある狀態で各商店は無論一般人の困憊は想像以上である此の拂底の聲は越年によつて多少融和せられるだらうこの豫想は全く裏切られて越年の今日も尙ほ依然こして拂底の聲が甚だしい一方朝鮮銀行では此の拂底を幾分なりこも融和し度いこて中央金庫に向つて補助貨の廻送を請願して居るが內地でも同樣拂底の折柄であるから幾等徹夜銃行で造つても朝鮮に迄手が及び兼るこの事であつたが再三懇請の結果昨年末五十錢十錢の紙幣取交ぜ十二萬圓は來たが肝腎の銅貨が來ないので閉口して居た然るにヤットの事で一錢五錢取交ぜ五千圓八日當地著の通知があつた是で拂底の聲を多少和ける事出來る譯である

○凍死者が多い

本年に入つて寒氣が增々加はつて來たので鮮人乞食の凍死者が頻々こ起つて四日夜十二時頃義州通二丁目鐵道區內で住所氏名不詳の六十才位の男が凍死してゐたのを始めに五日夜も北米倉町の街路で同じく不詳男の老人が凍死してゐたのを發見し本町署の李巡部が檢視の上京城府へ引渡した

◇五日横濱に著した… 女飛行家ルーズ、ロー孃

○華郎書伯逝く

□恬淡無慾なる老畫伯 日本畫の老大家鈴木華邨氏は豫て心臟を患ひ雜司ヶ谷御堂杉に臨柑して療養中であつたが昨日正午遂に逝去した、享年六十氏は萬延元年江戶に生れ大蘇芳年に就て浮世繪を學び後中島享齋の門に入つて四條派を修め美術院創立の際には正員こして日本畫の復興に努め其後花鳥畫の名手こして大いに世に鳴つて居た性質は恬淡無慾江戶ッ子だけに奇行多く音曲の嗜もあつて其獅子舞は有名なものであつた

◇…警察の窓から…◇

▲路上氷滑 昨今道路結氷して只さへ交通危險なるに子供が氷滑のをする爲め益々滑り安くなり夜間などは殊に交通の危險を感ずるから絕對に路上の氷滑りは禁じたいものである

▲下水を浚へよ 下水溝破損の爲め路上に下水が流出でそれが結氷して交通を危險ならしむるとが多い。だから交通頻繁な場所では各戶に充分の注意を拂つて貰ひたい

○石島少佐兩親葬儀 救世軍石島少佐の兩令嚴葬儀は七日午後一時永樂町京城小隊に於て執行后阿峴の墓地の埋葬されたり

○四溫に入る 夜來の雪も解けた

今朝は華氏廿六度此の正月は前夜大晦日の最高溫度が攝氏零下四度三(華氏二十五度餘)であつたのに引換て元日の朝から急に寒くなつて元日の晩には俄に攝氏零下九度八こなり二日に至つて同十六度八こいふから華氏の氷點に近き三度幾らに下降したのであるソレから三日の最低氣溫は同十四度四で四日以降の最低氣溫は十六度七八乃至三までの間を往來して且つ連日概ね西北風を吹き荒め多年朝鮮に生活してゐたものでさへ餘程閉口した樣であるが七日に至つて俄に四溫季に入つて夜來の雪も忽ち解けた七日午前六時の溫度は攝氏零下三度こいふから華氏にしたらば二十六度六〇に昇つて何れも寒がり連中は一こ安心した譯である

緣起棚

▲京城券番では六日、昨年中の線香數の一等は三席 順を發表したが是によると一等は三學、以下小萬、愛次、菊子、若奴、朝駒、金彌、政二、仇山、呂之助と云ふ順序である ▲この席順は月々のも發表し一等から五等まで賞與金こ云ふものがあるが、一年中の總勘定で一等を占めた妓供にはウンこ奮發して簞笥とか帶とか云ふものを與る相な。如人は誰でも知つて居ることながら雛の序に一寸…… ▲一等の三學は單に美しい許りでなく、坐行者として非常な人氣がある。三學と特に事ハ字を付けられたのも決して偶然ではないこ云ふ話。

○あさひ石水君 目下京城旅館に滯在中の詩吟師あさひ石水は各新年宴會等に招かれて得意の詩吟を試み居れるが中々の好人氣にて引張凧の姿なりと

仁川期米

七日後場當限出來不申 ▲中限一節三十二圓六十錢五錢平均値六十三錢四節七十錢 ▲先限一節三十四圓二十五錢九錢 [illegible]

仁川米豆取引所

七日の三月限 [illegible]

○安東の工業(四) 新義州稅關支署調査

▲吉昌永油房は原料大豆の消費高一萬四千六百三十四石、價格十三萬[illegible] ▲[illegible]高二萬八千五百二十石、價格二十五萬六千六百八十圓、豆粕十三萬枚、價格十五萬六千圓、豆油六十五萬[illegible]五千圓、價格六萬九千圓 ▲永聚成油房は原料大豆二萬八千二百六十石、價格二十五萬四千三[illegible]萬六千七百二十石、價格三十三萬[illegible]四百八十圓、豆粕十六萬二千枚、價格十九萬四千四百圓、豆油八十[illegible]

○連絡船上陸客 一月

五日午前入港新羅丸一二等客 一等(五)設田鹿太郎、賀本長之助、岡本[illegible]

▲日下部宮殿、楊進病院、阿部八助次郎 一月五日午後入港高麗丸一二等客 一等(四)大島與、外人三名 二等(二五)志之長治、民藤信雄、實藤[illegible]

天氣 曇

(七日午後六時より八日午後六時迄) ▲一月八日 ▲京城溫度 [illegible]

潮汐 仁川 鎭南浦 [illegible]

京城日報主催 氷上滑走大會 會場漢江人道橋下、期日詳細追而發表

○一萬圓位の貯金は誰れにも出來る

▲世の中には一生懸命に働いて金の出來ない人がある▲[illegible] 一方貯金主唱者 東京市神田區表神保町十 振替貯金東京三〇八九番 高柳淳之助

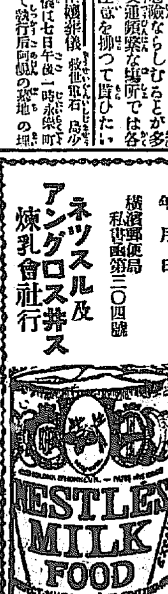
ネッスルミルクフード

小兒、虛弱者及老衰者用强壯營養物肺病患者の福音!!醫師諸氏の御推薦を蒙れり(送料包裝費こして)左記申込書御切拔の上御姓名御記入金拾錢郵券御封入被成下候はゞ見本包壹個御送附申上可く候

茲に郵便切手金十錢也封入候間ネッスルミルクフード見本包御送付相成度候

年 月 日 住所 氏名

横濱郵便局私書函第三〇四號 ネッスル及アングロスヰス煉乳會社行



○給仕募集 年齡十五六才高等小學卒業者募集す希望の者は履歷書携帶本人來談但し市內に確實なる保證人を要す 京城本町二丁目 第一銀行京城支店

一年の計は元旦にあり

胃の惡い方は思ひ立ちたるを吉日に年の始から……ソレ五大軍醫の合議製藥帖佐博士の推奬する

胃病良藥

を常備藥として服用あれ

定價 一回分五十錢 一冊 一圓五十錢 ▲全國各藥店ニアリ

◎藥は思ひ立ちたる時直ぐ買ひ給へ

本舖 東京本銀町三丁目 大阪南久寶寺町二 山田安民藥房

(明治三十九年九月八日第三種郵便物認可)

◯古來善美の意義を表徵せる羊の話

美肴美酒の代名詞となる　(上)

諸外國の語にはシープとゴートとのやうに緬羊と山羊とを明瞭に區別して居るが日本語と支那語には其區別が判然せぬ處がある尤も日本語にはゴートの方にヤギと云ふ言葉があるからヒツジと云へばシープのことのやうに考へらるゝが實際はさうでなく十二支のヒツジの如きは全くヤギで繪畫などに描かれたものはヤギの形をして居るものが多い又支那の『羊』の字は四足角尾を象つたものださうで本說はシープのことを意味するやうでもあるが實際にはゴートのことゝも混同して居るのみでなく何れかと云へば普通ヤギのことを指す名が却つて多いやうである羊の異名に長髯主簿と云ふ佳名のあるのもヤギの形から付けたものらしく考へらる、畢竟するに

◇◇日本人支那人間には◇◇

此等の區別觀念

がなく唯支那內地には普通ヤギの方が多いから何れかと言へばヤギの方を指した方が多いのだと思ふ殊にヤギと云ふ言葉は朝鮮語のヤムダと等しく支那の羊字の音ヤムから轉訛したものらしいから之れも支那人普通の錯誤を其の儘寫したものらしく結局日本人と支那人とにはシープとゴートとを區別する思想が明確でなかつたと云ふのが當つて居るやうだ、然し近來は日本でもシープとゴートとを區別する必要が起つて來たから緬羊又綿羊と山羊とに書き分けることになつた、綿羊と云ふ稱は支那にもある本草綱目の中に『時珍曰江南ニ生ズルモノヲ吳羊ト爲ス吳羊ハ頭身相等シクシテ毛短シ秦晉ニ生ズルモノハ夏羊ト爲ス頭小身大ニシテ毛長シ土人二歲ニシテ其ノ毛ヲ剪リ以テ氈物ト爲ス之ヲ綿羊ト謂フ』とあり俗語にもシープのことを綿羊と呼ぶ但し綿羊を緬羊と書くは支那では普通に用ひないやうである併し緬は緬ぎ綿と云ふ意味で至極適當の字だと思ふ、又綿羊のことを

◇白羊とも云らしく

支那人の俗語でも白羊と呼んだやうに記憶する併し前の夏羊が綿羊吳羊がヤギだとすると支那人の書いたもの、中に少し矛盾がある夫は齊民要術の中には白羊と羖羊とを區別して書いて居るのに爾雅には夏羊牡羭牡羖とあり又吳羊牡羒牝牂と有り更に本草綱目には白日羒黑日羖とありそこで夏羊が綿羊で白羊でありとすると爾雅の羖と羒とが

矛盾して居るやう

に見る處但し自分の知る處では夏羊には綿羊が多く吳にはヤギが多く又日本に渡たヤギも吳の方から來て其稱呼も一緒に持つて來たものだと思ふから寧ろ爾雅にある說明を誤れるものとして置きたい今日本ではヤギのことを山羊と書くことになつて居るが支那で山羊と云ふはヤギのことでなく

別の物のやうで

ある本草綱目に山羊の條があるが其の釋名に野羊羱羊とあり羱羊の註に『羊ノ原野ニ在ル者故ニ名ク』とあり全くの野獸にて羚羊に似たるものらしい『羣書集解中に『宏景曰山羊爾雅ノ羱羊西夏ニ出ヅ吳羊ニ似テ而シテ大角角瑿ツルモノ能ク崚坂ヲ陟ル羌夷以テ羚羊ト爲ス云々又恭曰山羊大牛ノ如シ或ハ野羊ト名ク善鬪死ニ至ル角皺梢外爲スニ堪ユ又瑞曰山羊羚羊ニ似テ色青其ノ角捲掘アル者羚羊ト爲シ無キ者山羊ト爲ス』と山羊の普通のヤギにあらざることは明かである

羚羊はカモシカ

である支那では羚羊には神あり夜宿するとき患を防ぐ爲其の角にて樹に掛り地に著かぬ故に角の懸れる所に深くして跡を掛痕あるものこそ眞の羚なりと稱するものあり朝鮮の羚羊は支那のと何處か異る所があるかと思ふがやはり山の羊と云ふて居る旁日本でヤギのことに山羊の字を用ふるは此等と混同する虞があるから餘り適當な稱呼でないかも知れぬ然らば支那ではヤギのことを何と云ふのか普通は羊と稱して居るが綿羊と區別した時には羊以外に稱呼なきやと云ふに明瞭ではないが

羖と云ふのがそれ

らしい尤も前にも陳べたやうに羖には種々の解釋が付いて居て不確な點もあるが齊民要術中に『皐ハ留毋二三日羖羊ハ但留毋一日トアリ又本草綱目羊ノ釋名ニ羖羊作羖トアリ同集解中ニ羖羊ハ河西ニ生ス宏景曰羊ニ四種アリ入藥青色羖ヲ以テ勝ルト爲シ次ハ則チ烏羊色ノモノアリ毛長尺餘亦夕羖羅羊云々又頌曰羖羊亦夕褐色、黑色、白ト謂フ云々又宗奭曰羖羅羊陝西河東ニ出ヅルモノ尤モ健狠最長シテ厚ク入藥最佳食ニ供スルガ如クンバ則チ北地ノ無角白大羊ニ如カザルナリ』とあり(野口)

◯此の春は果して寒いか

太陽研究の步が進ぬ中は　未だ適確な豫測が出來ないと

……總督府觀測所長平田德太郎氏は次の如く語つた……

每年の例として新年の暮に氣溫が高い時には春に嚴しい寒さが來ると云ひ習はして居る反對に暮に寒ければ春には必ず暖かいといふが然らば此の筆法で去年の暮は異狀の暖かさであつたから此の春は果して寒いか什うか之れには既往數年かの例が此の推想をする樣に寒暖の度を爲して來てゐるのであうが之を

◆觀測　上から見ると決して左樣の判斷を下す事は出來ない從つて此の春が果して寒いかどうか等この判斷は到底出來得るものでない元來此の寒暖の理を云へば一つに氣壓の傾度即ち氣壓の分布に依つて生ずるもので高氣壓が襲來すれば寒氣が迫り氣壓の發達が少ければ暖かいと云ふ事になる而して其の氣壓の變化即ち傾度の移動は太陽活動如何にあるのであるから氣候の寒暖に直接原因する氣壓の傾度を豫測しようと思へば先づ

◆太陽　の活動狀態を研究しなければならぬのである太陽の活動が如何に地上の溫度に影響するものかに就て一例を擧ぐれば彼の一時八箇間數かつた太陽の黑點である太陽の黑點は周期的に大小の變化を生ずるのは事實であるが時々刻々に於ても非常な變化があるものである氣象學上では今日迄太陽の黑點が大なる時は即ち太陽の活動が激しい年で隨つて熱の放射は多いとされて居る然らば其年は地上の溫度は普通に云へば必ず

◆昇騰　しなければならぬ年であるが却つて反對に太陽の活動大なる年は普通より寒いとされて居るのである之は太陽と空間との關係で一旦太陽から放射された熱は空間の活動に依りて更に地上に送らる、ものであるから決して直接太陽の熱を受くる事が無い之等の關係を詳細に研究しなければ氣壓の傾度を豫想する事が出來ないから從つて地上の寒暖を

◆豫知　する等は到底出來得るものでない現今では鈴世界の學者が太陽の研究を重大視する樣になつて居るが專門に太陽の觀測を爲して居るのは今では僅に米國に一箇所ある許である數年の後此太陽研究の

◆步　が進み太陽の活動と地上氣象の關係とを盡す事が來る際になつたら總ての氣象上に確實なる豫測が出來得る樣になるだらう(仁川)

◯新年に相應しい長春の春

名に似ない短い春の季節

七福神は此方から　配當が十幾割

要所に融隣のある所▲ある

長春!何と新年に相應しい土地の名では無いか、然れども名は證を現はさずして此地の春程短い殺風景なものは有るまい胡砂吹く所の騷ぎで無く人間でも吹き飛ばしさうな名物の蒙古風は長春の春に每日午後必ず市中を蹂々裡に窮らぬ日とては無いのである、漸く草木の芽ぐみ出して春の海のやうに大きな蜿蜒の波に似た高低の有る一眸の曠野の色が變ると春風駘蕩なぞと云ふ陰澤さは何のその、黃塵萬丈の春は約四十五日の短かさに暮て

◇百花一時に爛漫

となる夏景色と云ふ春の短ひ長春の新年は零下三十幾度の酷寒を目の前に控へては初春とか新春とか聊かにても長閑な春らしい詞は假りにも云へた義理でなく、今年は別して市中の小賣が不自由勝な爲に被せられ漸く買つて貰つてゐる石炭を力に此後二箇月の最酷寒期を過す冬籠り中の年の初めである素より此期間に活動を繼ける特產物と木材業者などは商賣柄支那人に對する

陰曆の新年に最も

深い關係が有るから邦人間に對すると支那人に對すると一年に正月を二度する勘定で有るのに却々斯業者は機嫌を要するから正月が二度あると云ふ呑氣者の評言なぞは當らぬのである、而もミツシリ頂戴仕つた屠蘇の醉でもお暇中して二三丁蹣々と步行く間には大抵ならば

醒て仕舞ふ程度に

寒氣は甚だしいが若し醒めない位にヨリ以上のへべレケ加減で通行人の少い路傍へでも倒れて居やふものなら要ふて來る酒寒は輕くて不具、重ければ命迄も覺束ないは新年早々緣起でも無い鶴龜〳〵と云ふて置く事として其割合に朝鮮の邦人家屋なぞの寒さと比べてはお話にならぬ程暖かである、目下長春座に尾上菊之丞といふ女優一座の歌舞伎劇が觀る物位で

外に行く所もない

土地とて禮廻りをソコ〳〵に親友の家へ轉け込むか線香立て流しの平素よりは約三倍も高い花柳の巷へ流れて入るか、但しは酒と女か中には忌まはしき賭博さへ流行つてある何處も同じ不善に趨る新年を迎へる人達が殊更に當地は多ひのである、其內でも相變らずと云ふ新年の挨拶語を拜借出來る白や黑の取扱ひ者が

我官憲こそ嚴重

に取締つてゐるが密接の關係ある問屋筋の露人等は露官憲の融通きと飲み込みの宜い爲に相變らず盛んに密商が行はれて居るし本家本元の支那側では二階建の支那料理屋が殆んど阿片の密飲所であると云はれる迄に公然の秘密で偶には衣裳金の廻りの惡い犧牲者が手枷顏に檢擧さる・のみの外未だ

昔の榮華の夢が

覺め切らぬ邦人の藥屋二百何戶が時には邦人の盜難品で飲みも食ひもする共喰ひの其日暮し商が生活出來るだけの餘裕が有つて芽出度く新玉の壽を申し納めて居る其他一般奧地と稱へて居る西伯利成金とも云ふ御用商や際物商人、皆車權利のブローカなぞの泡沫金を儲けた連中が切めて一年一度の正月を先づ北滿中で幾分か

母國へ歸た氣分

になれるといふ此地へ態々新年の迎へに來ると云ふのは所謂此處淨の意味も此種の業に從事する連中は顧で追ひ使はれる者等迄寧ろ茶屋酒に醉ふを誇りとする眞面目を映いた商人が多いから含まれて千番に一番の規矩合の劍の刃渡りして冷した臉へ紅粉の香の漂ふ熱燗に絹夜具と緋縮緬の長襦袢に包んで手足の指先迄温まらふと飛び込んで來る椋鳥に

長春の花柳界は

猫と云ふ猫は未だ毛並も調はぬ野良猫迄が小判を顧みない程の鼻息を低い處から吹き出してゐるのである、其上軍隊の北進して以來何と云ふても急に素晴らしくなつた景氣が一般に淫し響ひて商人等はホク〳〵顏で年を越した上に北滿鐵は各種の會社銀行業に迄好成績を示し東亞煙公司の

十幾割と云ふ配當

を始めとして前期には滿鐵保證程度の配當率で兎角內外の不評を蒙つた運輸會社なぞでも今期は一割二分に特別四分計一割六分と云ふ好況を示して居るから自然幾分か各使用人も

懷中工合も裕か

である、殊に歲增しとか手當とか種々の名義で頗る好遇せらるる樣になつた滿鐵社員なぞは物價騰貴がお蔭で減法界に利いた爲め節儉する連中は却つて從前よりは餘計の貯蓄が出來て福々しい新年である、其上今迄は職務柄苦しい我慢して居た學官迄に臨時手當支給と云ふ正眞の寶船に

快い初夢を結ぶ

事も出來たのである、倍上流と稱する紳士紳商連に至つては夫相當に矢張り隙かさぬ公私の事業の異中を上手に操つて七福神なぞは自分の方から出張させやふかさと反り返つて居る御連中も少くは無さそうで其の裏面には

隨分種々な機關が

行はれたのは云ふ迄も無ひが御祝儀として新年の試筆らしくない慣まれる事はヤマトホテルの名刺交換會にシルクハットや燕尾服、五ツ紋の羽織袴なぞに包んで唯お芽出度ふと御度を申し納めい鬼の笑ふ來年は知らねど

今年の正月は全體

に亘つて大相應に裕な懷工合に孰れも顏附きの長閑氣なのは長春と云ふ文字に似合ふた近年稀な景氣の好ひ春心地であつた

[illegible]……萬九百四十四圓、豆粕六萬九千四圓、價格八萬二千八百四圓、豆油三十四萬……十二萬二千五百斤、價格十二萬四千五百圓

▲中和棧油房は原料大豆消費高三……

▲恆盛泰油房は原料大豆消費高三萬五千七百八十石、豆粕十五萬七千五百枚、價格十八萬九千圓、豆油七十八萬七千五百斤、價格十五……

……一▲小野田信太郎、鳥居道氏、清水[illegible]太郎、多半幸、伊野部利雄、石橋貞男、高濱彌吉、三原新三、內田松藏、松村德重、荷かつゑ、小川省吾、山根熊次郎、竹石政太郎、關ゝ長之助、佐藤銀藏、原田榮二、李問潤、李百煥、京谷漣次郎、中尾敬次郎、向[illegible]、菊谷施四郎、三等(七五)

報

京城測候所　華氏　一度六分　攝氏　卅八度九分

前日最低溫度　華氏　零十六度三分　攝氏　二度七分

西伯利地方ニ旅行致候ニ付年末年始ノ禮ヲ缺ク　鎭南浦　三迫星洲

謹賀新年　安東縣一番通二丁目　材木商　五通仁作

賀正　和洋御料理仕出し　本年も相變ず御引立を希ふ　釜山草塲町二丁目(大正公園前)　均一亭　電話五九〇番

謹賀新年　鳥致院共立倉庫物產株式會社　電話八番

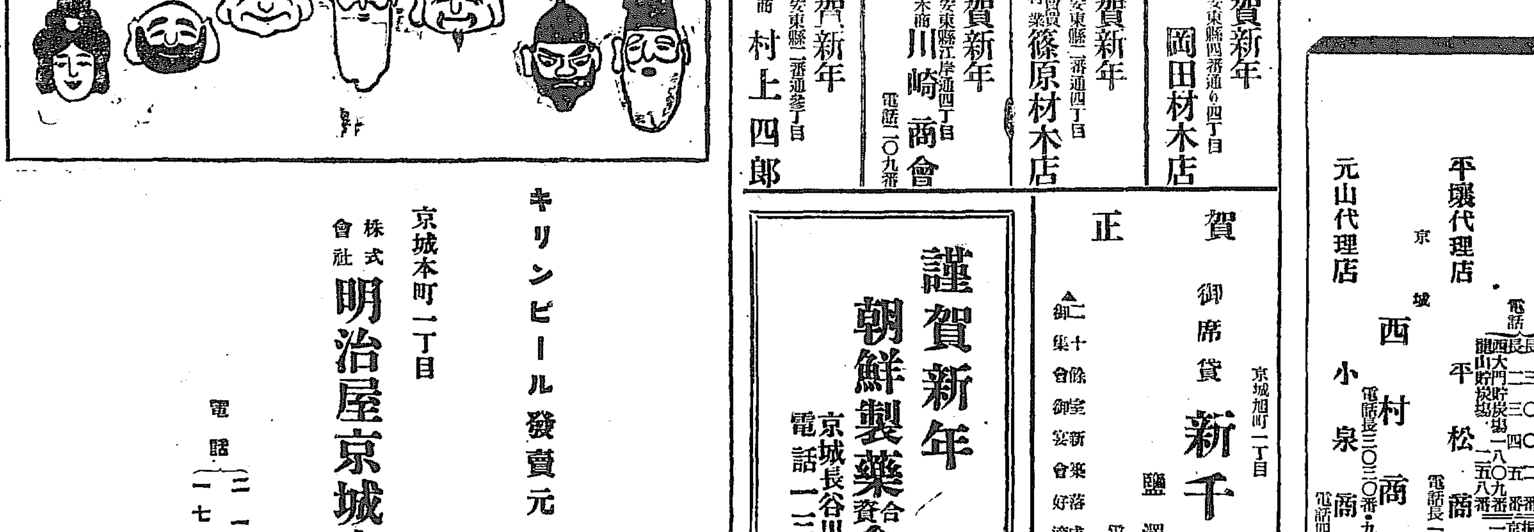
謹賀新年　京城鍾路一丁目　井上藥品部　電話八八〇番

賀正　京城永樂町二丁目　ジヨージ、アール、アーレン商會　電話長一九三八番　▲米國政府委託鑛石買入▼

賀正　自京釜線勿禁驛　蔚山每日往復　自京釜線密陽驛　昌寧每日往復　堀中自動車組合

謹賀新年　東[illegible]社　京城府漢江通四　電話長六四一番

謹賀新年



キリンビール發賣元　京城本町一丁目　株式會社　明治屋京城支店　電話　二一二番　一七二二番

謹賀新年　小林靜　黃海道黃州

謹賀新年　土木建築請負並ニ煉瓦土管製造販賣部　稻葉常松　平壤黃金町

謹賀新年　平南价川郡軍隅里　安井精米所　京義線沙里院

京義線新安州驛前　鐵屋旅館　元松月跡　日下客室新築中　同支店

醬油味噌醸造小賣　安河內釀造所　京義線新安州　本店鎭南浦

謹賀新年　安東縣江岸通一丁目　山形組　電話二一〇番

謹賀新年　原木製材販賣　安東縣江岸通四丁目　唐津材木店

謹賀新年　京釜線三浪津　朝鮮織業株式會社　管理所

謹賀新年　京釜線三浪津本町二丁目　小野酒造場

京釜線三浪津　醬油醸造　石田支店

京釜線三浪津驛前　森田旅館

賀正　人力車製造ゴム特約　蓄音器ミシン修繕　堀商會　京釜線大安驛前　振替三八九四番

謹賀新年　安東縣四番通り四丁目　岡田材木店

謹賀新年　安東縣二番通四丁目　架木商賣　製材業　篠原材木店

謹賀新年　安東縣江岸通四丁目　材木商　川崎商會　電話二〇九番

謹賀新年　安東縣一番通參丁目　材木商　村上四郎

謹賀新年　朝鮮製藥合資會社　京城長谷川町五八　電話一三〇九番

賀正　御席貸　新千代本　京城旭町一丁目　鹽澤千代　電話長二七〇七番　▲二十餘室新築落成　御集會御宴會好適▼

謹賀新年　撫順炭　南滿洲鐵道株式會社特約販賣所

京城　三國商會　電話　長二三〇九番　長一四〇〇番　西大門二〇五八番　龍山貯炭場二一八番　振替口座京城一二〇六

平壤代理店　平松商店　電話長一六一番

京城　西村商會　電話長三〇三〇番・九二〇番

元山代理店　小泉商店　電話四五一番

毛谷村六助 卅六番角力

一百七席 桃川桂玉口演 浪上義三郎速記

湯左衛門永綱は戰死いたしましたが、倅新十郎は未だ幼年のことで甲斐々々しくも乳母が新十郎を背負つて因州鳥取在龜井村といふ處に蟄居いたして居る、豪家で龜井新太夫重綱といふ者がありまする、此は永綱の弟にして新十郎の叔父でございます故此の方へ落延びました、親無き後は叔父を以て親に代へる、甥の新十郎を我子として養育いたし、成長に從つて一枝流の槍を教へました處、新十郎は天晴の腕前となりまして今では叔父に代つて代稽古をする樣になつた、此の新太夫といふ人は殊の外武藝家でございまして、浪人或は山伏出家雜彼の差別なく泊めまして能く世話をいたします、然れば始終二人や三人位は諸國の人が足を止めて居りまする或日のこと玄關で『お頼み申す』と云ふ聲、生憎召使の男は畑へ出て居りまして取次ぐ者が無い、新十郎自身玄關へ立ち出でまして見ると、年齒三十ばかり、黑木綿の紋附に裁附袴、木劍其他小さな荷物を肩に掛けまして菅の笠を携へて立つて居りまするのは、如何さま武術修行者と見ゑまする 新『何れからお出になりました』○『イヤ手前は九州の浪人近江典膳と申する者、行き暮て難儀をいたす、御大家と承知いたして罷り出ました、何うか一泊の御承諾み願ひたい 新『あ、左樣で、其今主人に申し聞けお宿いたすでござらう、洗足を差上げますから此方へお出になつて草鞋をお解きになるが宜い 典『ハ、ァ御當家の御子息で在らつしやるか、是は何うも存外失禮をいたした、何分にも宜しく願ひます 新『承知いたしました』と叔父の新太夫に此の話をいたしますと 新太『それは嘸お困りであらう、差支ないからお泊め申して進ぜるが宜い』と下女に申付けまして洗足の水を此處へ出しました、喜こんで典膳は草鞋の紐を解き、足を洗つて下女の案内で座敷へ通りまして休息をして居る處へ、立出ました新十郎 新『貴か、る山中で別に御馳走もござらんが、悠然と御休息をなさる樣、只今風呂が沸きますから早速入浴をなさるが宜い、定めし諸國御修行に相成つて面白き世間話も澤山ござらうから承はり度ふござる』典『イヤ永年諸國を往來いたし、隨分變つた話も澤山ござるによつてお話をいたしませう、お言葉に從ひ一と風呂頂戴をいたす』と下女の案内で風呂に入り、上つて來ると膳部が其處へ出る、喜んで食事を濟ませ茶を喫んで居る處へ、新太夫が出まして 新太『倍其許樣は武術修行をなされる樣承知いたしたが、何處邊をお廻りになつたか 典『左樣、本國を立出まして諸國往來をいたすこと茲に四箇年になります、西は九州名題の薩摩潟、東は常陸の水戸、銚子の濱は云ふに及ばず、鐵山讃摺あらゆる國々廻らざる處はござらん 新太『それは何うも恐れ入つたことで、耳新しき話も澤山あるであらう、武術修行をなされ何ういふ人に只今までお立合なされたな 典『左樣、到る處武術者は星の如く、イヤ何うもあふは〳〵、却々鳥渡お話は出來ん、然し物ぬけて出來る者は澤山ない、先づ關東では飯篠山城守家直入道長威齋、上州では上泉伊勢守、又加賀へ參つて富田の一家是等は當時有名の武術者でござる、手前は餘り武藝者とは立合ぬ、諸國の地の理、風土人氣を專ら研究いたす、何にいたせ應仁以來の大亂、先づ武士が出世いたするは今時でござつてな、明日にもあれ仕官をいたす其時は、第一に役に立ちまするは諸國地の理、其等の調べが肝要でござる 新『いかさま御最もの次第、然てお立合なされた武藝者は何ういふ人で 典『左樣、拙者は何處へ參つても不覺を取つたことは無い、然し上州の上泉伊勢守、あれは何うも大したものだ、拙者立合ましたが、却々及ばん、其餘の者は大概打勝つてござる』と大言を吐きました

▲撫順炭 南滿洲鐵道會社特約店 西村商會 京城永樂町三丁目 長電話三〇〇番 九〇〇番

○仁川府尹の招宴 桶野仁川府尹は一月五日正午府廳職員其他關係者數十名を府尹官舍に招待し新年宴會を催ふせり開宴と同時に各自乾杯し府尹の發聲にて 陛下の萬歲を三唱し新年初頭の獻酬に陶然として充二分の歡を盡し午後四時散會せり

九星問答

(問)●御紙の九星の日取と他の新聞の日取とは異つてゐますがドッチが本當ですか(迷信生外數氏)

(答)九星の日の繰り樣は陽遁(一白二黑と順に行く事)と陰遁(九紫八白と逆に行く事)と交りぐ〳〵になつてゐますが、此の陰遁と陽遁との繰り樣で差異を生じて來たので、今コヽに何れが正當であるかといふ說明をすれば永くなりますから暫く之を避けて大正八年一月元日を以て二黑土星の日に當る事を明言し本紙の九星は之に據つて繰つて行く事に致しました、之は多言を要せず、試みに當用日記なり、カレンダーなりを御覽になれば判ることと思ひます(係)

一月八日

舊十二月七日(水曜) 四緑 ▲庚申 ▲あやふ ▲赤口 ▲母倉日 ▲鉄 ▲陸軍始

▲四緑▼知らん顔で暮らすべき日
▲五黄▼無鐵砲のことある日なり
▲六白▼世話の仕甲斐なき日なり
▲七赤▼骨を折ても德の行かぬ日
▲八白▼力味甲斐のなき日萬事吉
▲九紫▼兩手に花の日或は思ひ掛けぬ事にて利益を得る事もあらん
▲一白▼賑々しき日にして目下より立てらる、日なり何ごとにも吉
▲二黒▼何かすることに槍檜の來る日
▲三碧▼親しみのある嬉しき日也

商況

大阪株式特電

七日前場

東紡	一八五、六〇
台紡	一四三、六〇
鐘紡	二四八、〇〇
同新	二三〇、三〇
米[illegible]	一一九、五〇
商船	一六六、九〇
同新	一一四、二〇
郵船	一九六、五〇
同新	九七、九〇
大株	一九八、三〇
同新	一七七、六〇

大阪期米

七日前場

寄付	三八、〇一
高値	三八、〇七
安値	三七、八〇
止め	三八、〇三

神戸期米

七日前場

寄付	三八、四七
高値	三八、四七
安値	三八、〇〇
止め	三八、二〇

東京現株中値

六日

東株	二〇九、〇〇
同新	一八一、一〇
大阪商船	一六八、八〇
同新	一一八、〇〇
郵船	一九六、一〇
同新	九七、六〇
滿鐵	一五二、九〇
同一新	一一六、八〇
第二新	七六、七〇
東拓	八一、〇〇
同新	三五、一〇

雜報

●毛皮類思惑高 毛皮類は[illegible]の氣候温暖なりしと一は群商思惑力の強き關係により此々荷出廻りらしき出廻りて大概が諸物價高の影響を受け殊に昨年品に較へらるゝものなる丈け海外輸出も好景氣なり相場としては昨年より稍々下向き氣配なるも目下狐の高 [illegible]

値の二倍内外の見當にて約二倍最底 昨年當時の最高の[illegible]先は矢張奉天方面を主とせるが何分思惑物の少なからざる事[illegible]を經過したる曉は一時に隱れ品の賣物現はるべき見込みにて相場も之か反動安を免かれざるべきかと

京城正米市況

定期の反落に買人氣ご見送りなるも出廻り薄にて先高を見越せる商主の態度強硬なれば割安の賣物なく市況は強含みの押に前日來持合ひの見當を持續せり和々の取組は々米最高三十三圓最低三十二圓四十錢にて八 三十五叺の出來ありたり

釜山穀物市場(七日)

賣物增加の爲め昨日來市況不味に傾きたる氣先き今朝に至り賣物は依然豐富なる拘らず買手一向氣乘りせず唱今明日中出帆の積荷用として一二買物ありし外精米筋の如きも小口補充買のみにて商談抄にしからず市況不活潑にて搗て加へて内地期米の安値を入れ相場は 五十錢方の暴落を呈し昨 迄三十七圓處を唱へし三等物力は本日三十六圓五六十錢所にて三千叺許りの取引ありたり(釜山特電)

仁川正米

叡の入津は結氷にて出廻り薄を唱へ九六風見當にて商談行はれたり 正米地摺玄米三十二圓八十錢神力三等合格三十五圓七十錢見當にて三千石餘の商談出來せり

仁川期米

▲七日前場(反動暴落)

第一節 大阪寄當三十八圓七十八錢中三十八圓先三十八圓五錢の五錢

大下放れ移て俄然人氣惡化 立會は當出來不申中三十二圓八十五錢より五十錢と崩れ七十錢と跳返す先三十四圓十錢と五十四錢の大下放れに寄付しも賣物多く二十錢より五錢と跳返したるが戾りは賣物多く十七八錢にて大激落を[illegible]たる氣先赤々大阪二節三十七圓八十三錢の安電て賣氣加り三十四圓丁度五錢落せしも安値は買物現れ〇五錢と返し引

第二節 當出來不申中三十二圓五十錢より六十錢先三十一圓丁度より買物多く二十錢と跳返し十七八錢と揉合ひ七錢引

第三節 當三十三圓四十錢中五十五錢より五十錢先十八錢より賣物ありて二錢さ押し五錢引

第四節 當出來不申中五十二錢先十七錢より四錢五錢を揉合ひ八錢引

第五節 大阪大節三十七圓八十六錢の入電にて當三十三圓五十二錢より買物多く六十五錢先十八錢より二十錢と伸び十九錢に散會したり

前場當限三十三圓四十錢⊖五十錢 中限⊖三十二圓八十五錢八十錢 七十錢平均值六十錢⊖五十錢六十錢平均 值五十二錢⊖五十五錢五十錢平均值五 二錢⊖五十二錢⊖五十二錢六十錢一錢五 錢平均值五、七錢

▲先限⊖三十四圓十錢三錢二十錢十八錢 二十錢五錢十四錢五錢七錢八錢二十錢 九錢 五錢七錢五錢八錢九錢八錢七錢 八錢 五錢七錢五錢四錢八錢七錢八錢 九錢二十錢十九錢二錢十八錢五錢三十四 四丁度メ五錢二錢三錢四錢五錢[illegible] 三錢五錢七錢一錢三錢十錢三錢 メ八錢十二錢三錢六錢七錢六錢五錢四錢

市場雜觀

八錢九錢八錢七錢十八錢七錢十八錢七錢六錢五錢[illegible]

昨大阪前場寄先三十八圓八十二錢三節九十三錢四節九十錢五節八 一錢 節七十一錢七節六 二錢八節六十八節九節七十錢十節寄三十九圓四十錢中三十八圓八十錢先三 八圓 十一時の め東京三十九圓三十錢三節十五錢六節三十八圓九十錢兵庫三十八圓九 錢六節八十五錢下の圓三十九圓十錢三節三十八圓八十五錢

▲當地後場は前場强硬に打止めしも大阪の保合を移して人氣弛み立會は先限三四圓六十五錢と安に寄付八錢と返したるも賣物多く六十錢と下押せしが押目は買物現れ七十錢より四十錢と跳返し戾りは賣物多く六十四錢より七錢と押し七錢引二節に入り六十四錢より三十錢四錢を採合ひ三節に入り賣物多く六十一錢さ七錢さ返し四節に入り賣物多く六十錢四錢と押し四錢さ不勢に打止めしが當限三十三圓七十五錢中三十三圓丁度より始め〇五錢と跳返したるも賣物現はれ三十二圓十五錢と下押しせしも押目待の買物に三十三圓〇五錢と跳ね返し四錢と打止む市況は一般買人氣と化し正米高を云々してより買來も傾向なるが大阪と七百五十丁の大鞘を賣りて四百丁內外の薄鞘を管込來るは一寸無餘の如く側々せられるも今の正米と大阪取引の採算より見ても四百四五十丁以上は軟派不測を管り込みしにて今日の鞘を以て當然と云はざる可らず併し奈何に買方の手持を飾へ昨前場三十四圓九十五錢は一寸氣乘り過ぎの觀ありしが硬派に於ても勝ち乘じて大勢を無視して不測を買はぬ用意を要するに有らずや引續大阪後寄三十八圓六十六錢止め五十六錢後末着

▲今朝大阪寄の大暴落に驚き公人形勢一變せられ立會は先限三十四圓十錢さ五十四錢の大下放れに寄付さしも買方因⊖④◎其他の防戰に二十錢より五錢と跳返したるも戾りは⊖島圓其他より賣物現はれ十七錢にて軟派の大激戰を[illegible]せし處先赤々大阪三節三十七圓八十三錢と暴落の入電に賣氣さ當押し、しも買方手揃ふ防戰に再び二十錢と跳返したるも戾りは賣物多く十二錢と下押せしも押目は強派の買物殺せず二十錢と返し十九錢と氣丈に散會せしが市況より見れば買方は大阪の暴落關係は論ぜず只正米の出廻り薄を越して買進み來る傾向なるか果して硬派の豫想の如く減米の寬難を來すか軟派に於ても正米騰きの有力筋もあれば決して侮り難く今朝の大阪の暴落は正米崩れにあらずやと觀測せられしが更に今の大阪との十錢の薄鞘は賣方に妙味あるが如く思考せらる

▲新南公定値段當選者

齋仲買店員

一等賞 十圓債劵一枚 永松久二郎 投標値段三十三圓八十三錢 ⊖仲買店主

二等賞 五 圓債劵一枚 內海淑三郎 投標値段三十三圓七十六錢

昨東京忠二會に際し本年初相場の新甲一節の公定値段の近移投標を行ひしが五日前標の結果右の通り當選せられたり

仁川米豆取引所

七日の三月限

前場

寄付	三十四圓十錢
止め	三十四圓二十錢
高値	三十四圓二十九錢
安値	三十四圓丁度

平均值段

一節	三十四圓十三錢
二節	三十四圓十四錢
三節	三十四圓十四錢
四節	三十四圓十七錢
五節	三十四圓十九錢

取組高

一月限	二萬五千七百五十石
二月限	十一萬千八百五十石
三月限	一萬四千三百五十石

青物小賣相場

⊖出廻り薄減じたるより昨 末より相場は堅調にて上向きポーレンソ菜は約三割方騰揚に上り其他名物平均一割五分の騰貴を告げ居れるが中にも先高を豫想せられし慈の如きは肉類の騰貴と年末の氣候關係等にて却つて下向歩調を辿りしも尙亦手を加へ其外肉類物の手元富裕なりし爲め之に同じく豊家の手元含裕な爲め之等の物は安値には賣惜み居れる爲め之等の物の騰貴しき下落なれば

さつまいも	二〇
かぶ	三〇
みつな	五〇
はくさい	五五
ほうれんそう	六〇
ぱれいしよ	一〇〇
しんぎく	一五〇
ながいも	二〇
つくいも	一〇〇
だいこん	二〇〇
たまな	三〇〇
ぜり	二〇〇

演藝案內

京城本町 電話五七八 壽座 正月二日より [illegible]士の家中堅女優劇直營演藝俱樂部
第壹 喜劇 演習の宿
第貳 小奇術 マル子出演
第參 寫術應用劇 新米泥棒
第四 小奇術 [illegible]出演
第五 問題の小品劇 蛇目傘
第六 社會劇 狂ひ咲
第七 魔術 マンマル孤出演
第八 人情劇 世話燒

東京小林商會直營一手代理店 ユニアサール會社特約 早川演藝部直營 活動寫眞常設館 有樂館 電話(長)三〇五番
當る一月六日より特作品提供 本國政府委托大作品
米國ユニバーサル會社作品 ラジウム礦業
米國ユニアーサル社特別連續大寫眞 大活劇 幽靈船 三、四、五、六 名優ベンウイルソン氏名女優
米國ユ社 大滑稽 競馬 全二卷
米國ユ社 人情劇 黃金の夜 全五卷 名優ロバートレオナード氏熱演 女優メーマーレー嬢出演

京城本町一丁目 電話一〇五〇 壽館
新年一月元旦より 東都ニ於テ新時代浪曲ノ泰斗 セラレタル 京山愛三大一座開演
[illegible] 電話(晝間)二二六六 (夜間)二六三七 黃金館
當る一月六日より正月第二次特別映畫 箱根靈驗躄の仇討
[illegible] 戀の暗礁 全五卷
新派悲劇 つなぎ舟 全四卷
京城明治町 電話二六〇 浪花館
▲御觀儀 ▲落語 ▲落語 ▲落語 ▲落語 ▲落語 ▲西洋奇術 ▲落語 [illegible]
趣味社遊藝界文藝協 採興
之助 三之太

大正館 黃金町 電話八七三 株式會社代理店
活劇 赤自動車怪室
舊劇 秩父大八郎 全四卷

文樂座 本町五丁目 電話三二八
浪花節應用中村福高一行 一月七日第七回替(午後五時開演)
前切 野晒勧三郎 相合道中 般若お作 義士外傳村上喜劍

ぢんぞう炎

腎臟炎に特效の良藥あり同病にて困難の方は端書にて御照會あれ詳報す ウヰンチ
播磨明石將屋町 天龍堂

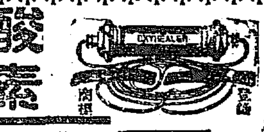
大門 黃金町長谷町入口 電話二九六二番 (迎歡口) 田村質店 商品擔保便利取扱

月やく

月やくとまり月經不順の爲め御胸につかへ時々嘔吐を催し腰足冷え下腹が張り逆上頭痛が致しお顔色が青白くなる方は何年來の御病氣でも何も心配がなく合壓して色々の他の薬を用ひても効なく出來ぬ方は私方へ遠慮なくお出で下さい 東京市四谷通り傳馬町停留場前 大阪北區曾根崎上二丁目四番地 月經專門薬 發行所 岡田屋

一千反限り
新機 高貴織
十八金色指環進呈
高貴織が一反七十[illegible]買へるとは[illegible]

松乃実ドロップス



謹賀新年

酸素療器 オキシヘーラー

▽實驗例說明書贈呈△

▼オキシヘーラーの顯著なる事使用僅か五分間を出でずして三乃至五日の血壓を充め一時間を繼續すれば實に十乃至二十日の活力を增進す試に血壓計、脈波計等を以て驗せば其調節の狀を明にし又各自は脈搏、呼吸の整調に依て自覺せらる
▼靈妙なる磁氣應用の本器は斯して血液中の酸素吸引力を增大し健康の元素を補ふが故に難治の疾病を根治するに空前の偉力を有す論より證據使用者は忽ち脈搏强實となり全身の溫暖、呼吸の深長を感じ次で熟睡、解熱、鎭痛、食慾の亢進、兩便の快通等生理的本能を回復するの神速なるは實に天下の奇蹟也
▼特色(使用法簡易効力永久不滅にして電池の如く消耗する物にあらざれば器械購入以外永遠に何等費用を不要)

■正價金參拾五圓■

東京市牛込區箪笥町三十二番地
オキシヘーラー獎勵會
電話番町特長三〇七・四六八九番・振替東京二七一一二番

本年は去年に倍する御愛用を乞ふ

鶴香水日本輸入元 花王石鹼關西代理店 大阪 大崎組商會
花王石鹼鶴香水朝鮮總代理店 京城 長瀬商會

悪性感冒に
ハカリ印のヘブリン丸
を用ふれば直ちに解熱し悪寒を去り全治する事は既に本劑を用ひられたる人々の實驗せらるゝ所なり
本舖 大阪 合資會社 參天堂藥房
定價十錢以上 家庭用五十錢、一圓、

東京三金の靴

ボックス革編上 一號四圓五十錢 二號五圓五十錢 三號六圓五十錢 四號七圓五十錢
ボックス革變化 一號四圓五十錢 二號五圓五十錢 三號六圓五十錢 四號七圓五十錢
ボックス深ゴム 一號五圓五十錢 二號六圓五十錢 三號七圓五十錢 四號八圓五十錢
御注文の節は靴の種類と足袋の文數御通知あれば代金引換小包郵便料實費にて御送附申上候
▼革見本寸法用紙付目錄進呈
▼卸賣御希望の向は特別割引便宜御相談に應じ申すべく候
東京市芝區愛宕下町
三金高等靴店
電話芝六九〇 振替東京一七二三

大戰五年の回顧（五）

露國の崩壊

大戰五年中最大事件として突發したるは露國の革命也、表面は無政府社會黨等の行爲なるが如きも、之れ全く獨逸の使嗾に出しものにて、其辛辣なりし獨逸外交の如きは[illegible]露國を戰爭の局外に驅逐せしも、遂に其[illegible]は今日の獨逸に歸り、曾て露國の嘗めたる辛き苦き經驗を嘗めつつあり、海に因果應報の適切なるを知る。即ち獨逸の政治家は露國を破壞して、而して自らを亦破壞する、因果劇の大作者たり。

獨逸の陰謀

千九百十七年、乃ち開戰第四年目の二月、露都に於て開かれたる聯合國會議の際、露帝と露帝の政府は佛國のアルサス、ローレンの回復と、ライン左岸中立地帶設定とを支持すべきを約せり、然るに其時露都に於ては二箇の獨逸陰謀進行中にして、其一は露國政府を蠱惑して聯合國に背かしめ、單獨講和を實現せしめんとし、皇后自ら亦其黒幕の一人たり、獨逸は機逸すべからずとなし、曾て皇太子の疾病より皇后に取り入り、勢威を[illegible]にする妖僧ラスプーチンを使嗾し、宮中府中及び貴族階級を攪亂せるが、遂にドミトリー太公の爲めに、千九百十六年十二月暗殺せらるゝに至れるは、世人の知る處にして、他の陰謀の一は無政府黨社會急進黨等を使嗾して革命を勃發せしめ、露國の政治組織を崩壞し、自然に戰爭より脫退せしめんとするにありたり。

革命の勃發

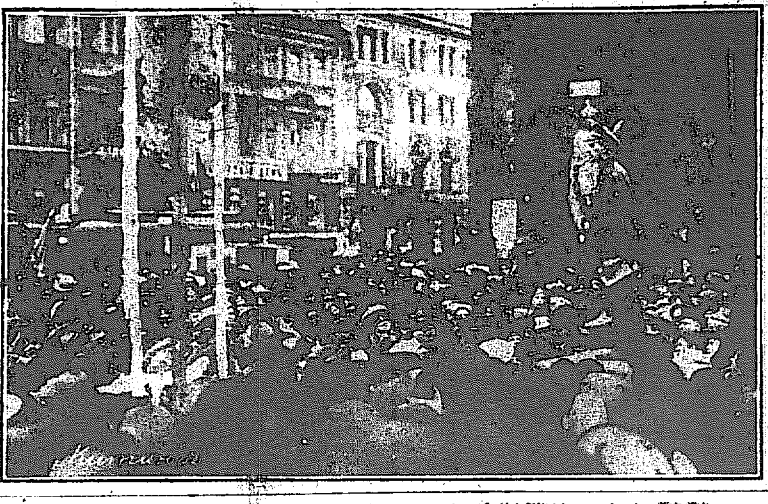
時恰も千九百十七年三月九日、食糧の缺乏より大暴動露都に惹起し、三日間に亘りて市街戰行はれ、漸次革命の色彩を現はし來ると共に軍隊亦革命黨に通じ逐日猛烈を呈するや、三月十二日露帝は突然議會の閉會を命じたり、一說に從へば暴動は、議會閉鎖の口實を作らんが爲に、政府が故意に激發せしめたるなりとも傳へらる、茲に於て議會はリヴオフ公を委員長として秩序恢復の任に當らしめたるも翌十三日に至るや、政府は全く權力を失ひ、親獨政治家を以て目されたる內相プロトポボフは其行方を晦まし、形勢は急轉直下して露帝は遂に三月十五日を以て廢立せられ、革命は短時日を以て成功せんとせしが、議會と假政府が未だ權力を確立し、騷亂を鎮定するの方なきに際して、革命の[illegible]はレニン、トロツキーの如き急進過激派の手に移り、忽ち兵士勞働者の代表者千五百人を以て組織せる勞兵會を支配し、上下の階級を打破し、全く秩序を顛覆し、軍隊の如きは全く[illegible]セバストポール等に叛亂紛擾し、[illegible]國內は殆ど無政府狀態に陷り、假政府は又如何ともする能はず、終に無賠償無併合の平和を聲明するに至れり、茲に於て講和欲求の聲は國內各所に揚がり、戰局上の最大危機に瀕せるより、當時の陸相ケレンスキーは急遽戰線に到りて軍紀の頽廢を防ぎ、全線攻勢に出でしめしも、時既に遲く軍隊は殆ど戰ひを欲する者なく、各戰線は潰走し、敗北に敗北を重ねたり。

時局依然混沌

七月十八日に至り、露都に於て突然無政府黨員の動亂勃發せしも、假政府の首相リヴオフ公はケレンスキーがウクライナに自治を許可せしに反對して辭職し、一時ケレンスキーは獨裁官の權勢を振ひしも時局は依然として[illegible]、軍隊は[illegible]八月二十八日全露會議莫斯科に開かれコルニロフ將軍は軍紀の頽廢を慨嘆せしも全露會議は却つて露帝及皇族と共に同月トボルスクに遷されたり。コルニロフ將軍は更に死刑を回復して軍紀を復興せんと主張せしも政府は少しも之を顧みず、リガ陥落の後始めて之れを許容するや、勞兵會は大いに憤慨し、リガ陥落の戰責をコルニロフ將軍に嫁し辭職を强要せしより、將軍は九月八日手兵を率ひて露都に進軍せり。然るにケレンスキーは將軍の意思を誤解し、却つて將軍を叛逆者となし、反對の態度を取りしより、將軍は遂に降伏の止むなきに至れり、ブルジロフ將軍既に去り、アレキセーフ將軍も續いて辭職したるより、露國を蔽ふ暗雲は益々濃厚となり、混亂の危機は日を追うて迫れり

過激派の勝利

ケレンスキーは十月上旬露都に民主會議を開き、聯立內閣を主張して九日勞兵會及び民主黨員六名より成る聯立內閣を組織せり、然るに突如として十三日獨軍リガ灣頭オーゼル島に上陸し、忽ち附近一帶は蹂躪さるゝ處となり、[illegible]エストニヤに到る沿民心動揺甚だしく、リガ灣頭諸島の占領は即ち露都亦[illegible]を以て、ケレンスキーは直ちに首都を莫斯科に移さんとし、軍隊の一部に[illegible]て莫斯科に移動を命せしも、然るに勞兵會の委員等は軍隊に對して移動命令を奉ずる勿れと脅迫せるが如く、[illegible]其行方を晦まし居たり、[illegible]過激派の牛耳を執りて一擧にクーデターを始め、終に政權を强奪し、ケレンスキーは僅に身を以て大本營に逃れ、兵を率ひて露都に進擊せんとせしも、レニン一派の爲に妨げられて志を果さず、其間莫斯科も過激派の手中に歸し、首相レニン、外相トロツキー、陸相クリレンコの假政府を組織され、次いで軍隊の解散となり、休戰條約となり、昨大正七年二月九日を以て獨逸と屈辱的講和條約を締結して戰爭圈外に脫出せしのみならず、遂に露國は崩壞するに至り、大露國の歷史は茲に至つて完結し最後の頁を閉ぢたり



革命當時の露都

大戰と飛行機

非常なる發達

▽機體の進步 今回の大戰中各交戰國飛行機の戰場に於ける活動は意想外にして漸く分業的に發達し現在に於いては（一）驅逐（二）偵察用（三）爆彈投下用（四）戰鬪用の四種を數ふるに至り驅逐用の最新式飛行機の如きは一時間約二百四十吉米突（六十里）の速度を出し八千米突以上の上空に飛翔し得る迄に進步せり又偵察用飛行機の如きも五千米突以上の高空に於いて地上を撮影し充分戰術上の資料に供し得る[illegible]とを立證せり

▽參戰の機數 又交戰各國の休戰當時に於る機數は實に莫大なるものにして戰前の狀態に較ぶれば各國共に殆んど十倍に增加し其製造能力の如きも頗る增大し獨佛兩國に於ては一日優に六十臺を製作し來れり

	戰前機數	休戰當時機數
佛	六〇〇	二〇〇〇〇
英	一三〇	一五〇〇〇
米	二〇〇	五〇〇〇
伊國	一〇〇	一〇〇〇〇
獨	三〇〇	一七、〇〇〇
墺匈	五〇	三五〇〇

即ち戰前に於る各國の飛行機數は合計千二百八十臺なりしが休戰當時に於ては七千九百臺に激增せり

▽飛機補充力 飛行機を戰用に供する時は其使用命數は僅に三箇月に過ぎざるを以て當初の戰鬪力を持續せしむる爲には三箇月毎に全部の再造を必要とし若し戰鬪間に敵機の爲に墜落せらるゝが如きことあらば更に其補充を爲さゞるべからず現に獨逸の如き昨年三月中聯合軍の爲めに八百七十臺を射落され全飛行機數の約三分の一を喪失せる例あり從つて飛行機を戰鬪に參加せしめ常に當初の戰鬪力を持續せしむるは可なり至難なるに交戰列國が休戰當時前記の如き莫大なる機數を有し得たるに見れば如何に列國が空中戰に全力を傾注せるかを察し得べし左に休戰當時に於ける英佛獨三國の製造能力を示さん

佛國 一日 六十臺
英國 一日 五十臺
獨逸 一日 六十臺

以上の製造力と現在所有飛行機とは勿論平時に於て不必要にして之を國軍に常備せしむる爲めには[illegible]要するより[illegible]之れを民間事業殊に旅客運送及び通信機關の補助たらしめんとして目下頻りに計畫中なりと

有樂町から

（東京支局）

▲ある所で政友會の高井三郎君が財政の洒落も滅多に言はれないと胃頭して鳩山和夫博士の談に士が地方から來た黨員と打ち寄つて何かの話の時黨員が東京もいいがかう碌でもない旅宿が多かつたり道路が惡くては仕方がない、そこになると田舍の旅宿の方がよほど增しだといふのに打かぶせて博士が例の茫漠たる顏で『それは當り前さ東京は君等のやうな田舍者が來るところだから旅宿も碌なものがないが田舍は僕等のやうな名士が行くから立派な旅宿がある』とあつたので堪まらない博士の方では一䑓の名洒落を言つてのけた積りなのが聞く方では洒落ところでなくむきになつて怒つて了ひ遂々脫黨騷ぎまで持上つたのを危く鎭撫したことがあつたさうな▲何にしてもそれを感心して默洒落失敗の警戒をしてゐる御當人が半畳を入れるのでは鳴らしてる福井君だから面白い▲朝鮮に關係があつた在野の一部の人々の手で李王世子殿下の御慶事を奉祝のため露領カムチヤツカ產の七尺大の白熊の皮に目も覺めるやうな紅緞の裏をつけて奉呈することとなり舊臘李王世子邸に獻納したさうだ

◆ムサシの語源（武藏野）

（雜誌抄）

『むさし』は、ムニ、サツ、ウシといふ三個の土語より成立するのである

ムニ　草といふこと
サツ　干きたる所（原野）
ウシ　生なりて居るといふこと

即ちムニ、サツ、ウシは草が干きたる廣野に生ひつて居るといふ意義で、太古の人が曠原に命名したのである

此ムニ、サツ、ウシが發音上から攻究するとムサシとなるのである

エトは現今の東京　永田町方面より日比谷に向け突出したる一小地の名で往昔德川家康が千代田城築造の際開ひ諸める所の地名に過ぎなかつたのだ、然るに此處に城廓が出來て以來、萬民皆江戶と唱ふると共に八百八町を代表すべき名稱と成つたのである（遠邑容吉）

現代英學界の突角を示せる標準的和英大辭典

武信和英大辭典

武信由太郎先生編

增刷漸く出來發賣開始

特價撤回の期愈々迫る

購入の好機は本日只今也

本辭典の利用は諸君の「不可能」を「可能」ならしめ「朦朧」を「明確」ならしめ「不安」を「安心」ならしめ「死譯」を「活譯」ならしむ!!

滿天下の奇蹟的熱望

完全なる和英大辭典の出版が我が英學界の翹望たりしや既に久し此の時に際し其最高標準を示すべき武信先生の和英大辭典出でて天下の要望將に旱天に雲霓を得たるが如く而して又各方面の驚愕と感嘆と讃辭と推奬とを併せ得たり、曰く現在の和英辭典を使用するものは數年前の殆んど有ゆる言語を知るを得たらんも武信和英大辭典に由つて得るものに比すれば限りなく少なしと氣の毒ながら云はざるを得ずと。又曰く我が英學界は此の辭典の釋義を以て最後の判定となすべきなりと。又曰くこれ我國に於ける英語發達六十年の結晶にして將來斷じて本書に及企し得べきものなしと、此の種の批評は實に枚擧に遑あらず本社は先きに提供せる特價五萬部賣切後漸く出來せる增刷二萬部を更に又左記の大特價にて提供せんとす此際卽時購入あれ然らざれば又復賣切とならん。賣切後は斷然正價に復す。

◎天下斯くの如き理想的和英辭典あるか!!!

武信先生畢世の事業として着手以來廿有一年、悉く其蘊蓄を傾到して現代英學界唯一の大產物は成る!!! 譯語の適切は云ふを須たず、語數の豐富、排列整然として檢索の自在なる、一指を動かせば直に所要の語句は現はる、眞に英語實力最大の貯藏庫。速かに來つて其恩惠に欲霑せられよ!!!

見本進呈　諸君の請求により直ちに進呈する內容見本及十七大特色の說明書は尤も正直に且つ能緒に本辭典の總てを語る。本日只今請求して是非是非一見せられよ。

此の好機を逸する事なかれ!!

驚嘆すべき廉價　語數實に卅萬語　紙數二千五百頁

總クーロス製テッブ式本裝、特製美本、極めて堅牢、携帶至便、縱五寸七分、橫三寸一分、定價金參圓五拾錢

大特價 金參圓　小包送料十二錢（滿朝臺廿錢 海外四十錢）

東京麴町區富士見町　研究社　電話番町三四七〇番　振替東京二八六〇一番

品質第一

銘酒瓶詰之一大權威

全道各地之需要激增

大阪府學町　宅合名會社　攝津灘工場今津

●高尚なる副業●立身出世の近道

精神療法講義錄

古屋鐵石[illegible]　四ヶ月[illegible]卒業

武拾四巻既刊完結　[illegible]　一時に分納者には合輯一冊呈本す

成功[illegible]　保證[illegible]　開業[illegible]　隨意[illegible]　會則[illegible]

催眠術療法　[illegible]療法　靈術療法　精神分析療法　クリスチャンサイエンス療法　人身マグネツト療法　耳根圓通妙智療法

東京芝區琴平町二　精神研究會　振替東京二三五一

定價　一箇月金七十五錢[illegible]
廣告料金　[illegible]
發行兼編輯人　奧田直毅
印刷人　本川三之介
發行所　京城太平通一丁目　京城日報社
電話番號　[illegible]

株式名義書換停止公告
來ル一月二十三日ヨリ第四回通常株主總會終了迄株式名義書換ヲ停止ス
株式會社朝鮮殖產銀行

最新刊
日韓大[illegible] 一、八〇
再び草の野に 花袋 一、四〇
燈影 花袋 一、五〇
西鶴物語一代女 吉井 一、八〇
愛の探檢記 [illegible] 一、三〇
我の思ふ所 永田秀次郎 一、二〇
英雄百傑逸話の旅 [illegible] 一、三〇
株式の心得べき事柄 [illegible] 一、五〇
大正七年改版 朝鮮法令輯覽 定價拾貳圓送料四十二錢也
偶像再興 和辻哲郎 一、八〇
[illegible]影 [illegible] 一、八〇
將來の日本と西洋の青年 [illegible] 一、〇〇
男子の本領 [illegible] 一、〇〇
新刊孝道 [illegible] 一、八〇
新編死の陰に [illegible] 一、五〇

京城本町一丁目　大阪屋號　電話[illegible]　振替京城[illegible]

第[illegible]回決算報告　貸借對照表
[illegible]
大正七年十二月　朝鮮礦產株式會社

京日案內

外勤社員募集　地方主任三名　普通社員若干名　[illegible]黃金町[illegible]

事務員募集　能筆者及外交に巧なる者數名入用　希望者は履歷書携帶來談あれ　京城南大門內朝鮮人參製劑所

●生徒募集　日鮮生徒大募集　[illegible]京城黃金町二丁目[illegible]

▲下宿讓りたし　京城市內目抜きの場所[illegible]御希望の方は電話[illegible]へ御照會あれ

ロール紙差上入用　京城旭町　中島印刷所

毛皮なめし並仕立　[illegible]京城本町二[illegible]

金細工職人募集　京城黃金町一丁目　喜多金光堂

旭炭團卸小賣　[illegible]京城南大門通[illegible]　宮崎商店

●御袴仕立專門　[illegible]京城本町四ノ一五　山崎商店

◇牧野男倫敦へ

牧野男一行は八日カルマニア號にて倫敦に向け出發せり（紐育電報）

◇米國運賃引下實施期

米國太平洋岸より日本又は支那行船荷運賃は四割の引下げを見る可く多分二月一日より實行さる可し（紐育電報）

◇比群島貿易禁止
本邦船舶業者打撃

米國政府は今回比律賓群島の沿岸貿易を禁止したる旨某所に入電ありたるが右は外國船は比律賓、布哇、米國との間に航行に從事し得ざる事となせるものなる可く果して然らば本邦船舶業者の打撃は鮮からざる可しと觀測せらる（東京特電）

◇マ將軍逮捕さる

獨逸マツケンゼン將軍はブタペストにて逮捕されたるが逮捕したるは佛國軍なりと（倫敦電報）

◇獨逸軍リガ撤退

獨逸軍隊はリガより撤退せりと（路透電報）

◇獨司令官を威嚇
英國司令官より最後通牒

伯林諸新聞は波羅的海に於る英國司令官は獨逸司令官に最後通牒を送り今後獨逸にして露國過激派の襲來を防止するに非ざれば聯合軍は獨逸に侵入す可しと言へる旨確報せり（倫敦電報）

◇普魯西分割案提出

普魯西を數州に分割すべしとの議案提出さる（路透電報）

◇岑春煊和議急促

岑春煊氏は內外の形勢に鑑み代表者を上海に派遣し進んで議和會議を開き萬事を解決するを急務とし其理由として七箇條を擧たり（上海特電）

◇北方代表者會議

北方代表者は四日江蘇督軍所（南京）にて會議を開きたるが西南が會議地點を上海とする說を主持せるを以て之れを承知せんとする傾きあるが如しとの報あり（上海特電）

◇支那兩公使任命

汪榮寶氏は瑞西公使に魏宸組氏は白耳義公使に任命されたり（北京電報）

◇觀兵式御取止め

八日陸軍始め觀兵式は　聖上陛下御風氣の爲め御取止めの旨七日仰出されたり（東京特電）

◇王世子參內

李王世子垠殿下は七日午前十時廿分參內　兩陛下に御對顏種々御物語りあり同十一時廿分退出相成りたり（東京特電）

逝去せるルーズベルト氏

◇西園寺侯東上

西園寺侯は六日午後東上駿河臺の自邸に入れり（東京特電延着）

◎原料輸入と支那市場（下）
某消息通談

以上の外豆粕の如きは年々八百萬圓以上の輸入あり、獸骨、野獸糸、獸脂其他油脂、漆、繭等も尠からざる輸入を見つゝある即ち

▲從來に於ても　我國は支那より原料の供給を受くるこは可なり多大であつた、されば此儘推移するものとせば我製造工業の發達と輸出貿易の增進に伴ひ支那の原料品を輸入することの益々多きを致すべきは疑ひを容れぬ況んや我國にして支那原料品の利用に就きて特別の注意を拂ふに於ては將來の輸入高は頓に增加するここゝ思はれる。又我製造工業上最も大切なる輸入原料は鐵鋼、綿花、羊毛、皮類、麻、護謨、安質母尼、石油、コールタール染料、製紙用パルプ、石炭

▲苛性曹達　及び曹達灰、錫、タンニン、越幾斯等にして其中製紙用パルプは將來自給の見込立ちコールタール染料の如きも內國の製鐵業及び冶金工業の發達に伴ひ瓦斯工業の發達と相俟つて敢て自給の途不可能と云ふ可らず其他の原料中最も大なる鐵鋼及び製鐵用の石炭の如きは支那滿洲の原料を利用するに於ては優に自給し得べく羊毛、皮類、安質母尼、苧麻、鉛、錫等も又多く支那に於て生產せられ苛性曹達及び曹達灰は支那產の食塩を原料とするに於ては其の要なきに至るこゝ思はれる、

▲外國の供給を　仰ぐ殊に我紡織品の原料たる棉花は支那に於て其の栽培に適して居るから我紡績業者は努めて支那棉花を使用する方針を執るべきである、若し我國にして假令一時は多少の不便を忍ぶとも努めて支那の原料品を使用することゝせば將來歐米より輸入が杜絕しても大部分の原料を得るに困難を感じない。今次の時局の教訓に鑑みるも原料の自給獨立は頗る大切であるが我國の如き國情に於て強いて原料の自給獨立を計らんとするは其趣旨とする所は甚だ可なるも

▲實際問題　としては餘程考慮の餘地があらねばならぬ、されば吾人は徒らに狹隘なる國土內に於てのみ原料の自給獨立を計るを止め宜しく支那滿洲を目標として其計畫を實行すべきものであると信ずる如何なる場合と雖も最早日支兩國は國防上にも經濟上にも孤立分離を容さず即ち兩國は相提携一致して進むべき關係に在るのであるから我原料品の供給を支那に求め支那は日本の爲め此に對して便宜を與へ日本は亦支那の爲め鑛山の採掘農業の開發工業の經營、交通の疏通等に必要なる

▲資金を融通　する等兩國の經濟的提携は自ら實現さるゝ事と信ずる、要之我國が支那の原料品を益々盛に利用することは原料輸入上極めて安全且つ利益多き途にして最も自然的なる原料自給策となり亦支那の爲めには其の產業を開發し民福を增進することゝなり日支兩國の經濟的結合を緊密にする極めて有效なる措置と云ふべきである、されば政府當局に於ても深く此點に意を用ゐ民間當業者は一時の利害のみを打算せず

▲永遠の利益　を考へて支那原料品の利用に努むべく吾人は一部に唱へらるゝ如き彼の偏狹なる原料自給獨立策には到底賛成することが出來ぬのである。

◎滿洲行貨制限中止

滿洲各驛在庫及び野積貨物場所は貨物充滿し餘裕なきを以て當分の中局線各驛に於ける滿洲線行扱著貨物の取扱を中止す可しと

年頭に立ちて（二）
▼五年後には一千萬圓の收入
遞信局長官　持地六三郎氏談

大正八年は平和來後の第一新年で殊に目出度ひ感じがする、然し昨年から予は依然として多忙際立つた清新なお話も浮かんで來ぬ、思ひ付きの一端を述て年頭に立ちての愚見としたい、大正七年の朝鮮は各方面共

▲異常の發展　を告げ極めて多忙の裡に終始した、財界の膨脹斯の如き盛況を呈した事は未曾有であらう、從つて一般社會狀態の反映たる通信收入も空前の好況を呈し年度の計算より見れば尙は三箇月を剩してゐるが結局今年は五百萬圓は下らぬだらうと信じてゐる、平和に入つた八年度の收入狀態は如何であるか講和反動の財界に及ぼす事を計算に入れねばならぬから或は多少行き詰りの氣もするやうに考へらるゝ、然し一時伸力を減じても大勢は朝鮮に於ける文化の進步鮮人通信利用力の增大より見て好況を持續すべく吾輩は今後每年百萬圓宛の通信收入を遞增し乃ち大正十二年には一千萬圓を算するに至るべしと豫想してゐる、乃でかく收入が殖ゑて行けば純益も增加する勘定ではあるけれど

▲遞信事業　の收益は大體より見ると殆んど電信電話に局限されてゐると稱して差支ない郵便の方はどうも支出が嵩んで利益は多く擧らない殊に小包の如きは損失を蒙る事もあると云ふ有樣である、更に海事の方は命令航路の補助として全く出すばかりである結局遞信各事業は郵便に於て收支トン／＼の狀態であり電信電話に於て利得しその利得したのを海事の方面に注ぎ込むと云ふ事になるこのため今後五年間電信電話を主として百萬圓見當の收入を遞增して從つて純益を殖して行けば海事の補助はそれだけ多きを期し朝鮮を基點とする航路は餘分に延ばし得る譯ではある

▲今後の航路　朝鮮今後の命令航路は仁川と北支那方面も必要であり釜山仁川と上海方面も何れは連接せねばなるまい、更に西海岸と阪神方面の航路も早晚必要であらう、今後形勢の推移如何によりて露領沿海洲にも命令航路の延長を行はねばなるまいと思はるる以上は大膽の腹案であるが、かく經營航路を增大して行くには之の受命會社の第一候補たる朝鮮郵船は一層その資本を充實し所有船を新して貰はねば十分と云へぬ、乃ち現在資本金三百萬圓拂込金百五十萬圓所有船約一萬噸弱では心細い少くも八百萬圓や

▲一千萬圓　の資本とし、持船を增加し朝鮮基點航路の經營者として耻かしからぬ內容の具備を必要とする、朝鮮は通信方面の施設にも海事方面の施設にもこれから尙ほ爲すべき多くのものを有つてゐる譯で、今後一層奮勉努力を續けて行きたいと思つてゐる

酒井抱一筆

◎運輸收入增加

京城管理局に於ける大正七年度末運輸收入は年末柄旅貨共に殷賑を極めたる結果其額亦尠からず即ち十二月二十七日は五萬七千七百二十四圓二十八日は五萬五千六百五十一圓二十九日は五萬二千六百二十一圓三十日は五萬三千二百五十六圓三十一日六萬三千三百九十二圓を示し居れるが滿鐵平均收入額に比すれば一日平均優に五千圓以上の增收なりしと

◎龍山鐵道學校計畫成る
四月より開校—六十萬圓の建築

滿鐵京城管理局にて昨年來立案計畫中なりし鐵道學校新設の件は最近滿鐵本社との協調も終了して確定案を見るに至りしに付近く校則其他の一件書類と共に教育令に據り總督府に認可の申請をなす事となれり今その內容に付京管主腦者の談を聞くに左の如し

▲學校の內容　鐵道學校は本科と別科に之を分つ事となりたり本科には驛務科、土木科、運轉科、機械科の四科を置き入學生は內地人高等小學校卒業程度朝鮮人高等普通學校卒業程度とし入學試驗を科して其の收容をなすべく生徒定員は約三百名の豫定なり又別科には講習科（一般鐵務の講習）徒弟科（工場職工）並に電信科の三を置き程度は本科より進めて中學卒業程度のものとなすべく入學は局員より希望者を徵する譯なるが資格は岩倉鐵道學校その他の中等學校卒業者並に鐵道學校の本科卒業生を收容する豫定にして本科の修業年限は三年にして別科は六箇月となるべし

▲開校の豫定　學校の名稱は京城管理局鐵道學校となし開校は本年四月より之れを行ふ豫定なれど設備建築等その他の關係上第一年の生徒は本科に於て驛務科運轉科の二科に留め土木並に機械の兩科は之れを次期より開始する事となす外なからん尙ほ別科の電信科は現に養成しつゝある從事員養成所の生徒を引繼ぐ事となり講習科徒弟科の開設は目下の所未定なり尙ほ生徒は全部官費制をとり卒業後は滿鐵社員として從業せしむべく生徒の定員は完成の場合本科三學級一級百名宛合計三百名別科約四百名となす考へなり更に內地人朝鮮人の收容振り分けは別に定め居らず試驗を課して有資格者を採るべし

▲校舍の建築　校舍の位置は龍山鐵道公園前の廣場を以て之れに充つべし建築は近く解氷と共に開始し年內に落成せしむる豫定なるが工費並に諸設備費に約六十萬圓を投ずる筈なり建築は校舍を主とし公會堂圖書館體育場等を附設し公會堂は公開し龍山市民の便宜にも供し圖書館も一般に向つて公開すべし尙ほ校舍落成するまでは便宜上現在の從事員養成所の建物を代用する事となれり

◎一月資金集散

一月中に於ける朝鮮資金の集散狀況に付鮮銀調查局調查を聞くに收納は合計三十萬九千七百十七圓散出合計二萬零三百七十圓にしてその內譯を示せば左の如し

收納	
煙草稅雜稅	六七、三一七圓
製皮會社外五社拂込	二四二、四〇〇
合計	三〇九、七一七
散出	
諸會社利益配當	一五、〇〇〇
勸業債券利拂	五、三七〇
計	二〇、三七〇

◎聯絡旅客賃增徵

一月一日より當分の日支聯絡旅客（片途往復周遊）及び手荷物に對し所定賃金の外增徵及び低減額の九倍を徵收する事となりたり

◎五島博士講演會

滿鐵讀書會の招聘に應じ大連長春其他各地に於て講演中なりし東京帝大教授理學博士五島淸太郞氏は來十二日入京の豫定なるが翌十三日より向ふ五日間龍山鐵道俱樂部に於て『生物學優生學』の題下に講演を爲す可く尙局外一般の聽講をも希望する由なるが斯界專門家以外の申込者頗る多數の見込なるも入員に制限あるを以て希望者は至急龍山滿鐵京城管理局庶務課（電話二六二）に聽講料金一圓（但し五日分）を添へ申込まれたしと因に講演開始時間は午後四時半なる可しと

◎內野少將歸任

第卅旅團長內野辰次郞少將は七日朝釜山より歸任せり

◎奧田倉庫長榮轉

朝鮮軍司令部附倉庫長奧田四郎氏は今回第五師團經理部長に榮轉し七日夜七時五十八分龍山發列車にて赴任の由

◎山川中佐勤務

陸軍省軍用自動車調查委員輜重兵中佐山川良三氏は軍用自動車調查の爲め來鮮中盲腸炎に罹り客臘二十八日總督府醫院に入院療養中なりしが此程全癒せるを以て七日退院午前憲兵隊司令部を訪問せるが不日歸東す可し

◎漢城銀行招待宴

漢城銀行にては來る十一日午後五時半より千代本に於て新年宴會を開き各新聞通信記者を招待すべしと

◎天日氏の設宴

朝鮮精米株式會社專務取締役天日常次郞氏は同會社創立披露を兼來る十日午後六時三十分朝鮮ホテルに於て新年宴を催し各方面の人々を招待す可しと

◎對外貿易前途
樂觀を許さず

[illegible]當りて我對外貿易を想見するに未だ必ずしも樂觀を容さゞるものあり[illegible]各市場に販路を開拓して異常の發展を遂げたるは寧ろ僥倖なりしと云はざる[illegible]きを保すべからず勿論各交戰國は自國の原料自給につき向後相當年限は[illegible]と同時に衛生大なる各國の經濟政策[illegible]蓋し是等に對し通商上差別的待遇の[illegible]敵國產業上の勢力回復[illegible]必ずしも[illegible]の共助[illegible]品たる玩具其の他各種の雜貨類は其の蒙る影響決して尠少ならず[illegible]料品の大部分を交戰國其他より仰ぎつゝある國に取りては本問題は頗る重大にして[illegible]

◇鳥瞰錄

此頃重役會議のため入城してゐた木村東京駐在鮮銀理事はどうした間違ひからか夫人を伴れてゐないのに夫人同伴と傳へられた▲多分理事夫人は久濶を敍するため見へたのであらうと云ふ推測より京城上流婦人のホテル訪問も多少あつたらしい▲弱つたのは木村理事で、餘儀なく婦人の訪客にも接したわけだが、濶達な理事は『イヤ夫人同伴となぞと噂されたので、その噂が本當の夫人の耳に入つたらコレだらうぜ』などと云ひつゝ兩手の人さし指を額の所に立て・笑つてゐたさうな▲滿鐵で朝鮮線經營をやつて利得した益金は、當然本社の勘定に移してよい譯だが、それを本社の收得とせず朝鮮線の改善に投ずると云ふのは滿鐵當局の意向—七日の朝刊に久保局長談として紹介した▲然しその純益を本社に收めず、之れを朝鮮線の改善に投ずると云ふのは、收めてよい純益を收めずつまり滿鐵にはそれだけ朝鮮線改善のために犧牲を拂ふ道理で、朝鮮としては大いに感謝してよい譯だ▲唯財界の反動や利益の擧がらぬ新線の開業の延長やそれらの關係上鮮鐵經營の純益が擧らぬ事もあるから知れぬ▲左樣の場合は或はやりかけた施設の繼續を要する時本社より補給を受くべき場合を生ずるかも知れぬとの事である▲遞信現業員の勤勉手當ても愈々昨年十二月から支出する事となつた▲遞信局はツイ此間又此手當給與ありて現業方面は大分ホク／＼らしい

西伯利亞行（六）
チルチンスク　モエ生

一六八九年露國と淸國との境界確定條約にて有名なるチルチンスク市を訪うた[illegible]（十二月二十三日）

演藝畫報

第十三年　正月號　本紙空前の大計畫發表

◆表紙と房絵（所作事十二ヶ月の內）三番叟…（鳥居淸忠氏）

歌舞伎狂言傑作十二種　評論十二篇　新錦繪十二枚　寫眞十二枚

（傑作十二種）（評論）（表）錦繪（裏）寫眞
◇沓手鳥孤城落月　河竹繁俊　歌右衛門の淀君
◇柳巷曠着劍色縫　楠山正雄　羽左衛門の淸心
◇勸進帳　中內蝶二　段四郎の辨慶
◇鐘もろとも恨鮫鞘　島華水　延若の八郎兵衛
◇梅雨小袖昔八丈　池田大伍　菊五郎の新三
◇近頃河原の達引　岡本綺堂　仁左衛門の與次郎
◇菅原傳授手習鑑　久保田米齋　中車の松王丸
◇近江源氏先陣館　小宮豐隆　吉右衛門の盛綱
◇鳴神　伊原靑々園　左團次の鳴神
◇助六由縁江戸櫻　小山內薰　幸四郎の助六
◇形見草四谷怪談　灰野庄平　梅幸のお岩
◇戀飛脚大和往來　高安月郊　鴈治郎の忠兵衛

◆評論は劇の研究に於て第一流の人々◆新錦繪は現代劇畫家中の第一人者たる名取春仙氏◆寫眞は典雅なるコロタイプ版

花形三幅對…二面大三色版寫眞
◆中村福助◆片岡千代元助◆中村扇雀の當り役及び素顏

全國十二月芝居寫眞數十頁　各種特色版及錦畫

東西福茶話

俳優大正七年劇壇回顧
當代各派の男女俳優十八人が本誌の爲めに自由に其の思ふ所を語りて興味如何附けて各自の最近當畫を揭く
東西の新聞劇評家廿四氏の一人一ケ月分擔の回想記にして其の價値多大

◆奇想縱横の大正七年十二ヶ月漫畫史…小川兵衛氏
◆舞臺上に實物を應用することの不可…山本久三郎氏
◆盲目滅法な狂言定め…田村成義氏
◆見物の變化と今後の芝居…大谷竹次郎氏
◆忠臣藏の獨參湯たる所以…靑柳有美氏
◆芝居の效果…[illegible]孝子氏

花形讀　時雨八千代　美人三女史
劇評　見た儘　芝居
小說等滿載

本號特價九拾五錢（送料金參錢半）
東京市京橋區南佐柄木町　演藝俱樂部（振替東京六〇〇二）

國民必誦　共讀新體　特に靑年國史

國民日本歷史

大懸賞募集七十五種中の當選傑作愈出づ!!!
文學博士三上參次　文學博士芳賀矢一　文學博士幸田成行　文學博士吉田東伍　四博士鑑選
高橋俊乘先生著

曩に曠古の大典を機とし、一千圓の賞を懸けて國民の共に讀むべき新様式の[illegible]

界思想界空前の大混亂の余波まさに我國に及ばんとするの際、一般に徹底せる國史の知識と趣味とを普及し、國體の由來を知り國民の地位を自覺せしむる事は刻下の緊急事たり。本書は恰も此目的の爲に書かれたるもの、て、何人も必ず一本を藏すべく、家庭學校、軍隊等に備へて以て靑年、子弟の讀本を勸むべき書たることは親しく鑑選の任に當られたる當代國史學の權威四博士の推獎によりて明か也

四六判金版函入寫眞版挿畫三色版四枚寫眞銅版二枚　定價金貳圓六拾錢（郵稅內地十二錢）

東京神田　富山房　振替五〇一番

スケートの季節來る!!

從來鐵道俱樂部にて經營し來りたる漢江氷上滑走會は今後鳳山遊園にて繼承し鳳山遊園遊船部の遊船を氷上適宜の場所に氷著せしめ脫衣場休憩場自轉車置場賣店等を設け精々便利に取計候間他日西比利亞線頭に立て雄飛せんとするの健兒諸士續々入會心身の修養に資せられん事を御勸申上候　敬具

▲入會費金貳拾五錢學生入會費金拾五錢會員外は當日金五錢

入會申込所　鳳山遊園滑走部氷上賣店

[illegible]上の關係上將に一掃せられんとす[illegible]局面は一轉して是より所謂產業競爭の新時期に入らんとす此時に[illegible]たりと雖も要するに[illegible]英、米等主要なる工業國が戰爭目的の達成に全力を傾倒し他を顧みるに遑あらざりし時に際し世界の[illegible]品の再來に會せば[illegible]が從來の如き好調を以て其發達を持續し能はざるは明白にして寧ろ却つて或程度の需要減退を見るな[illegible]るの影響を直ちに經濟戰に轉換して先づ第一に戰時に喪失したる海外に於ける利權の奪回に傾盡すべ[illegible]

▼對獨墺措置　吾人は歐米諸國より渡來して殺到する巨浪の如き精巧品の强襲を覺悟する[illegible]何[illegible]態度を採るべきやは[illegible]に考慮を要すべき重大なる問題なり巴里經濟會議は戰後の過渡期に於ける措置及び永久的措置として[illegible]を確保せんことを決議せり然れども北米合衆國は該決議に加入せざりしのみならず却つて同國大統領は正義人道を理由として反對の口[illegible]問題は近く開催せらるべき平和會議に於て決定せらるべきものなるが若し誤りに獨、墺商品が平等の待遇を受くることゝせんか我國の競[illegible]に對して一步を進め[illegible]管理に關して大計畫を樹立せんが爲に既に調査に着手せりと聞けり我邦の如き綿花羊毛鐵器養蠶等重[illegible]下に發行せらるゝか[illegible]慮らざるを要す（農商務省商務課長八木武三郎氏談）

御參內復命遊されん

―特使宮東京御著と盛んなる歡迎―

特使東伏見宮依仁親王殿下には隨員を從へ夕刊所報の如く西伯利丸にて七日午前九時橫濱御著妃殿下其他の御出迎へを受けられ同十一時四十八分東京驛御著軍樂吹奏裡に兩陛下より御差遣の勅使を始め各皇族大勳位原首相以下文武大官の御出迎へを受けられ妃殿下と御同乘自動車にて一旦麥町の御邸に御著隨員其他百餘名と午餐を共にされたるが沿道には歡迎の群集堵を爲せり尙宮中の御都合にて御參內委曲復命遊ばさる筈なり（東京特電）

○寶石の都、森の都 エカテリンブルグ（一）

今はウラル戰線の都會として……

◇街の中央には巨寺の金十字架が聳ね赤松の森が取圍む

從軍記者　金谷眞

寶石の都エカテリンブルグ!!!今はウラル戰線の都となつた、記者は十二月八日の夜此の街へ著いた、零下廿何度の夜半北停車場へ降りて見ると巨きな停車場には電燈が煌々と照り輝いて東京驛のプラツトフオームのやうな地下道路が幾つもあつた、試みに三等室二等室の待合をのぞいて見ると夥多の旅客はゴロ〳〵と下のたゝきに橫臥して居る、しかも足の踏み場も無い程にイワン君や何々スキー君が橫たはつて居る、二等待合で

▼遲い晩餐　をとつて居ると『あれは支那人か日本人か……』と大勢がギロ〳〵見廻しに來る、其處へ毛の防寒帽を冠つた米國赤十字社の人が來て右手を差し出しながら『ヤア!!!何處から來ましたか?』ニコ〳〵する『日本から……』と答へると『勿論ですとも……私、東京!!!』と野暮なとをいふなどいふ眼付此の時『待つて吳れ米國人には歐露から西へ廻つて歸つた方が近からう』と云ふ氣が起つた、さすがにウラルの山中である記者は今朝此處から二三一露里（わが五八里）南方のチエリヤビンスクから來た、その間は悉く赤松と白樺と眞白い雪との

▼ウラル山中　であつたがエカテリンブルグからは更にわが百餘里以上の鐵道が北へ延びて居る、地圖で見ても此の街はまだウラル山脈中のずつと南方に位置して居る、停車場は無論巨きくなくてはならぬ、エカテリンブルグには實に五條の鐵道線路が集中しそれが皆ウラルを縱橫斷する幾條かの支線とも連結されてある、エ市は實にウラル山脈中第一の都會である、人口はざつと三十五萬人、今は無論それ以上であらう、エカテリンブルグはエカテリナ女王の名に因んだものであらうが獨逸名稱のブルグは一寸おかしいではないか、之も何とかラードにしては如何かと餘計なお世話を考へて見る、此地は由來は金の產地だがと

▼樺の道路　を見廻しつゝ行けば街路は雪や氷がキラ〳〵してゐる、寒氣は左程でもなかつたが併し樺太の境界線よりまだ七度上手の北緯五十七度の地であつて見れば可なりに寒い、朝になつて街を見る、なる程、噂に聞いた通りの美しい街である、建物は西伯利の街のやうに木造が尠く何れも堂々たる石造または煉瓦建が多いまた夏ならばさぞやさぞと思はれる許りのエセート河が街の中央を流れて河を隔てた南北兩方が互にゆるき傾斜となつてゐる、加ふるに街には巨きなお寺の金色の十字架が聳ねその背後一帶には美しい

▼赤松の森　が取圍んでゐる、エカテリンブルグはまた綠の都、森の都である、街は東西に長く中央にウジイゼンスキーの大通りがある、店舖は何れも相當に巨きいが今は兵士の宿營舍に充てられた家が多いやうである何分無限の富を有つたウラルの鐵山を控へた街とて此處から山中の各鐵山へ送る物資は却々莫大な高に上る、エカテリンブルグの開發されたのは實に金鑛や寶石や石炭や鹽の採掘されるお蔭である

○大田驛に地下道掘鑿

大田驛改築工事は昨年中に於て略竣工したるも本年中に於て更に一時設備の改善を行ふべく之れが第一着手として現在の不完全なる渡越橋を廢し工費數萬圓を投じて地下道を掘鑿すべしと

○料理人は賊

賍金千圓に達す

三日午前四時頃平壤壽町金尾富城方裏口より忍び入り銀側時計を竊取し更に隣家なる旅館を襲ひ下宿人の衣類其他約二百四十五圓のものを竊取逃走せんとしたる賊あり栗を食つて料理場に逃げ込みし處を同館主が取押へ平壤署に引渡したるが取調の結果此奴は東京市下谷區龍泉寺町當時住所不定料理人高木榮（二九）と云ひ大正四年十一月海軍服役中竊盜罪にて懲役六個月の處分を受け昨年八月東京下谷龍泉寺町八木廣太郎方に忍び入り衣類時計指環等十三點（四百圓）を竊取して若松に逃走同地にて窃盜を働きたる上朝鮮に來り京城龍山等を荒して釜山浦に流れ込み三枝秀雄と僞名して三菱製鐵所の雜夫に雇はれ迎賓館の料理人として働き居る內舊臘二十八日同所ボーイの所持金六十圓を盜み其金は富士の家其他二三小料理屋にて費消し翌廿九日同地遊廓萬松樓に到り高價織女羽織一枚を更に三十日未明迎賓館に忍び入り階上客人の金側懷中時計一個を竊取し元山平壤に入込み停車場通り平壤旅館に投宿し賑町遊廓に足を踏入れ酒色に浸り懷中無一文となりしより又々前記の如く一仕事せんとしたる所を逮捕されたるものなりと因に此奴は非常の大酒家にて賍金約千圓は全部酒色に費消したる由平壤署にては尙餘罪ある見込みにて目下內地へ照會中なりと（平壤）

○飢寒に泣く少年乞食

救世軍士官學校で收容

その裏面に潜む隱れたる慈善家

市內西大門外平洞なる救世軍士官學校では目下廿名ばかりの少年乞食を收容して教養に從事して居るが年齡は十歲以上十六歲まで、主として南大門市場を根據として可愛相に此寒空に著る物とてはなく飢ゑと戰ひ疲れに抗しながら

▲塵箱の中　に寢醒勝ちの夜を明かして居たのを明日は愈々元旦と云ふ暮の卅一日に救世軍の士官が引つ張つて來たのである右につき一士官は語つて曰く『舊臘愈々押詰つてから南大門通りの丁字屋洋服店と睦商會から救世軍本營のフレンチ大佐へ少年乞食を救濟して頂き度いと云つて現金三百圓の寄贈があつた、畢竟今度の少年乞食收容は是が動機となつたので

▲四百圓許　りと古著類の寄贈の金品は專ら其救濟に使用する方針である、乞食を收容し盡したのは翌日の午前一時頃であるが何しろ髮は延び放題汚れては居る全く鼻持ちがならぬので收容すると直散髮をさせるやら風呂に入れるやら

▲大騷ぎで　あつた、當方では目下國語、諺文、漢文などを敎へて居るが著物の供給が充分でない爲め此頃の寒空には戶外へ出す事が出來ない、從つて戶外で働かせる事が出來ないのは遺憾で、相當の監督の下に然るべき勞働に從事し多少でも賃金を得て與れゝば寄贈の四百圓は大部分

▲救濟基金　として積立てゝ置けるが、此儘では今後二箇月を支ふる事すら困難である、吾々は丁字屋及び睦商會に對して感謝の意を表すると共に更に世の特志家の同情を仰ぐものである』

○貯金多し

一箇年約二百萬圓宛の增加

◇朝鮮財界餘裕あり◇

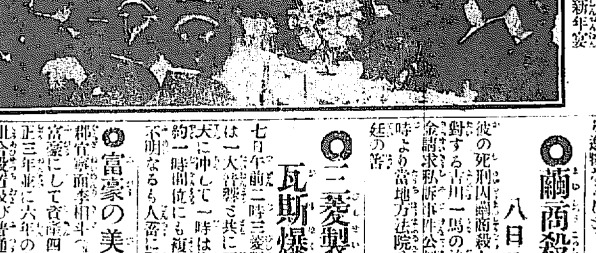
好況續きの朝鮮郵貯況は越年の今日一層の速度を以て增加し來り人員百三十五萬人の千三百四十萬圓を示した是れを昨年の同期に比して見ると人員に於て十五萬人金額に於て百七十萬圓を共に

◇激增　して居る更に最近二三箇年に比較して見ると一箇年約二百萬圓宛の增加で朝鮮に於ける財界が如何に餘裕を生じつゝあるかを想像するに難からず此勢ひで進まば二千萬圓を突破する決して遠からざるべく誠に慶賀に堪へざる次第で右の如き未曾有の好況は自然係り員の繁忙となり四日の御用始め以來連夜夜業をなしつゝある有樣であると遠藤貯金管理所長は語れり

○三十貫餘の大豹を射止む

青年　大手柄

全南麗水西町鑛山業者森耕次郎氏の次男岡吏（二三）は十一歲の時實父に伴はれ[illegible]漁船に乘じて鄭甲[illegible]山麓より父母[illegible]を募ひ麗水に來り世人を驚かせし程の豪膽者なるが數日前麗水より北方三十里を距る谷城郡銀店洞所在の自己經營の鑛山附近に於て雉獵の目的を以て谷合深く分け入りしに徃く手の方より突然一頭の豹現はれアヽヤと思ふ間にハヤ六七間の距離に迫りければ用意の爲とて別に携帶せし實彈を塡充する暇なく咄嗟の間に銃口を込め度胸を定めて發彈せしに運善く豹の前脚に命中し遂に之れを射止めて麗水に運搬し來れるが體重三十貫に餘る逸物なりしと



愛國婦人會の新年宴

○繭商殺私訴

八日公判開廷

彼の死刑囚繭商殺し郡野川義雄に對する吉川一馬の治療費及び慰藉金請求私訴事件公判は八日午前十時より當地方法院公判廷に於て開廷の筈

○三菱製鐵所の瓦斯爆發

七日午前二時三菱製鐵所の溶鑛爐は一大音響と共に瓦斯爆發し火光天に沖して一時は物凄じかりしが約一時間位にも復舊したり損害額不明なるも人畜に負傷無し（兼二浦特電）

○富豪の美擧

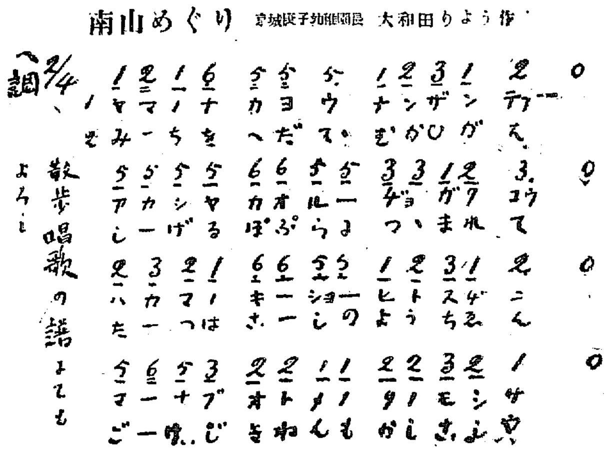
慶南宜寧郡宜寧面李相斗（[illegible]）は郡內一流の富豪にして資產四五十萬圓を有し大正三年並に六年の安衛防及び衛生組合設置及び普通學校新築の計畫あるを聞くや夫れ〴〵相當の寄附をなし昨夏米價騰貴の際其筋に於て貧民救濟の議起るや率先して廉賣に盡力する等公共事業に盡力する處勝からざりしが昨冬以來惡性感冒の爲め種々手當中此程其死に臨み作痛に遺言して貧民救濟並に他兩學校學校組合の基金として寄附を申し出でたりと

○捨兒

京城黃金町三丁目宇野病院附近に生後四箇月位の鮮人捨兒を發見し本町警察署より檢視を爲したる時は死後約四時間位を經過し居たるが右は何者の捨兒るか判明せず

○鎌倉保育園寄附　[illegible]たる市內三坂通り支部の事業費より寄附あり[illegible]二十五圓[illegible]

南山めぐり　京城庚子幼稚園長　大和田りよう作



京城めぐりの歌

京城を歌つた唱歌か……

‖大和田庚子幼稚園長新作を發表す‖

京城庚子幼稚園長大和田りよう女史は是迄京城に京城を歌つた唱歌が一つもないのか大變遺憾に思つて『京城めぐり』と云ふ唱歌を創作中であつたが此程漸く出來上つたので東京の坪內先生や高島國政氏の校閲を經て左の如く發表された京城めぐりの創作に就ては女史は相當苦心されたもので唱歌の中に京城の氣候風土名所舊蹟が遺漏なく唄はれて居るので面白く歌つて行く內に自然京城が頭に入る樣に作られてある女史は是非皆さんに唱つて貰ひ度いと云ふ希望を持つて居られる譜は京城めぐりの爲め女史が特に作られたものであるが散步唱歌の譜でも面白く唱へるさうである。

京城めぐり（上の卷）

京城庚子幼稚園長　大和田りよう女史作

山の名通ふ南山町
あかしやかをる女學校
袴の徽章一すぢに
學ぶ少女のたのもしさ
道を隔てゝ向ふがは
雄茂るポプラに包まれて
つは庚子の幼稚園
庭は少しはせまけれど
遊ぶ玩具は餘りあり
時々鐘の聞ゆるは
布敎最初の本願寺
上りて行けば總督府
出て入る馬車は織る如く
門には番兵嚴めしく
銃もて立つ夜もすがら
音樂堂の廣場には
噴水風にちりみだれ
昇る牛腹大神宮
心をうつす鏡池
花咲く頃は櫻谷
下ゆく水も紅ゐに
芳野の眺めかくもやと
苗木移して二九の春
花の白雲かき分けて
登る頂き安々と
その道すがら天神の
宮に詣でんいざ來れ
上には卞原打ち開け
藥師堂とか一字あり
堂守ならん朝鮮家
茂る欅は幾百歲
夏を知らざる山の上
見はらす眺め果もなし
呼べば答へん北漢山
三角山を前にして
見おろす下は全市街
街衢整然二條に
走る電車は蟻に似て
往來の人はけし粒よ
昌德々壽兩宮は
怪巖奇石數多し
煙霞の中に見えかくれ
谷に流るゝ小川には
あたりに咲ける秋草は
桔梗かるかや吾もこう
松の雫にうちぬれて
ぬるでやつたも色深し
四季折々の山櫻
姿もながし大和町
東洋協會學校や
憲兵隊司令部も此町よ
御代の榮を壽町
あれ〳〵あそこ日の出校
東に下れは獎忠壇
かすみに浮む東大門
松風揃き別世界
かをりも高きすみれ花
この名物蕨狩や
雪のにしきも見ちかな
オモニキチベイ溪流に
いそしむ樂の手際よさ
天の香具山白妙の
衣ほす樣今ぞ見る
つゞらおりに下り行けば
間もなく漢陽公園よ
不意に午砲の響きて
白衣の人をおどろかす
遙に見ゆる漢江は
一すぢ白き帶をひき
中を横ぎる鐵橋を
黑煙吐きて汽車渡る
すぐ目の下は南大門
汽車や電車の忙しさ
門は政府の保護厚く
昔のまゝに殘りたり
ならぶ兵營中學校
三坂小學新舊の
校舍左に城壁を
傳はる下は米倉町
西に下りきて旭町
買物市場はこゝ[illegible]
內鮮人集ひきて
肩もすれ〳〵[illegible]
役所の多き[illegible]
郵便局を[illegible]
府廳鮮銀[illegible]
何れも[illegible]
テンコー[illegible]
今は本[illegible]
屈指の商[illegible]
四町五[illegible]
こゝぞ電車[illegible]
一氣に走[illegible]
動物園もこ[illegible]
時間のあ[illegible]
山もて圍む[illegible]
市中山上[illegible]
四季行樂の[illegible]
御代大正へ[illegible]

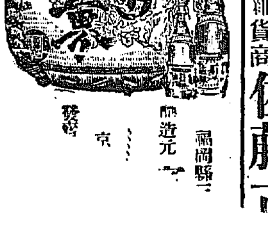
▲▲月やく
[illegible]頭痛がする◎胸がわるい◎何となく氣分が惡くして人知れず心配の方は色々さまの藥を用いてもきゝめがない方は是非一度御用下さい[illegible]
京城鐘路東大門停留所前東　いづみ屋

安全第一（セーフテーファースト）の　かぜねつ特効藥
丹平商會發賣の『蛇印（ジャシルシ）』アンチピリン丸
特長　▲最新高貴藥の配伍。▲絕對に副作用なし。▲胃中に溶解し易し。
主効　かぜ、ねつ、はやりかぜ、頭痛、齒痛、リウマチス、オコリ其他熱一切に偉効あり
藥價　□十錢　□十五錢　□廿錢　□五十錢
到る處の藥店に販賣す
コドモ（七歲以下）の

[illegible]A-DIASTASE
高峰[illegible]

白神洋行　京城
鐵　鋼材　浪板、平板　針金、洋釘
ペイント、油類一切　コークス、セメント　耐火煉瓦、モルタル　スコツプ、シャブル　帶革、ロープ　機械、工具　附屬品　其他
新田帶革總代理店

優等清酒



福岡縣[illegible]　醸造元[illegible]　京[illegible]　發賣[illegible]

△陸軍拂下　被服類其他　諸官衙拂下品販賣
和洋衣類拂下品　メリヤス雜貨商
京城漢江通一三（電話長三五六番）
佐藤古

母と子（七十二）

北島春石作　森田久畫

くもり空（四）

今度は直樹が空しく唇を噛んだ。

暫くは雅巳を凝然と見入つてゐたが、徐ろに白髯を撫しながら、

『お前の言ふところはよう解つた。』と靜かに頷く。

『お解りになれば結構です。』と、雅巳は間一髪の隙も與へず『明日と言つては又面倒ゆゑ、こゝまで出かけた次手、これから澁谷のお宅へ伺つて、幸枝のお引渡しを願ふことに。』

『いや、それは御免被らう。』

『何うしてですか。』と直押に迫つて『令、閣老は幸枝をお返し下さるとお誓ひなさつた筈で。』

『うむ、それは確かに誓いて居るが、此方にも又いろ／＼都合があるで、幸枝を岸上へ戻すは無期限に見合せるとしよう。』

『いや、それは叔父さんのお言葉とも信じられません。』

『信じられずばそれまでの話ぢや。』と、直樹は空嘯いて一向に取り合はず『この空模様を見ると、明日も又降雨らしいな。』と力強く歩み出す。

『お待ちなさい……』と、雅巳は鋭く呼びとめて『何うしても……幸枝をお返し下さる事は出來んですか。』

『お前も黙い男ぢやな。』と踏みとゞまり『斷然戻さんと言ひ切つたら何うする了簡か。』

『さうなれば已むを得ません！僕は警察力を借りても奪戻して見せます。』

『面白からう！俺も大賛成ぢや。』

『何ですと？』

『警察力を借りて幸枝を奪戻して見いと言ふのぢや。なあ、貴様も人間ならばよう聞け！この森泉直樹は正義の二字を以て、その生涯を一貫せんと試みて居るんぢや。可憐なる少女を繼しき母の手に返すは人の情として忍びぬから、斷じて幸枝を岸上に戻す事はならん。』

『然し、僕は幸枝の父ですぞ。』と雅巳は憤怒の拳を握つて詰寄つた『然うなつた以上貴老には一切お預けしておかれん。』

『うむ。』と、重藤の弓折れを執り直して『貴様は……暴力を用ゐてまでも俺と戰はんとするか。』

『それも時と場合に依ればです。』

『面白からう！』と呵々一笑『老たりと雖も森泉直樹ぢや、未だ貴様に負ける程の耄碌はせんぞ。』

『…………』

『いつでも貴様の相手になつて遣らう。さあ、遠慮なく組付いて來い。』

爭論が爭論を捲起した行掛り上、雅巳は拳まで握つて殺氣立つたが、直樹の敵でないことは自分でも知つてゐた。

『おい！何うしたのぢや。』と、今度は直樹から逆襲を試みて『急に臆病風が立つたか。』

『…………』

『馬鹿め！』と大喝一聲『もう好い加減に良心の睡眠をさませ！その時こそ改めて逢つてやらう。』

雅巳がだち／＼と後退りするを見も返らず、直樹は悠々とこの場を立去つた。

『岸上さん、飛んだ災難を食ひましたな。』

ふいに慰藉の言葉をかけて、わづかに我に還りし雅巳の面前へ、土手の松蔭からノコ／＼出て來たのは、先刻から兩人を尾行してゐた人物。

『お、高松さんですか。』

朔平は、もう小半丁も先を歩める直樹を見送つて、

『なる程、佐久間藏造の親分だけあつて、彼奴の惡黨には驚かされましたぜ。』

雅巳は忌々しげに舌打したが、もう何と罵るべき氣力もなかつた。お濠から吹き上げる風は、腹立たしきまでに鋭い寒さを含んで、二人の頬を掠めて行く。

□東萊より　一二・三一

▲烏兎居士の誰白く聽秋は山口貞昌君也

湯の宿や木立になせる冬日影　烏兎

大年や家をはなれて一百里　同人

湯を出でゝ更にこもりぬ置炬燵　同人

○友禪の蒲團かけたる炬燵哉　聽秋

○名なし鳥群るゝ朝日や冬木哉　猥城

○火桶抱いて炬燵の人と語りけり　浩一郎

烏兎居士に返句　素謠もあなん溫泉のお正月　鄙軒

□時局に關する世界都々逸

元山里　松尾寄濱

米＝補ろる損ごはそりや誰か言ふた今年しや米國當り年

佛＝花の都の佛蘭西巴里喜にや萬般の寶舟

英＝婦人の氣嫌もとりや英國のジョーヂ内閣鼻天狗

露＝國は革命あらおそ露西亞ロマノフ一家は血の祭

獨＝聯邦築きし其の甲斐零の今ぢや涙の獨逸國

墺＝小島打たれた大巣の鳥はもとの古巣にや歸られぬ

南米＝智利に豚汁沸々煮へる米の御飯にやよいおかず

土＝毒を（獨墺）藥と仰いだ土耳其今ぢや手足も動きやせぬ

伊＝日和見定めくり出す伊國歸る土産はアルプ山

白＝國を奪はれ流浪の皇帝今ぢや都に還御さる

日本＝國は日の本瑞穗の國よ登る國威は不二の山

故鈴木校長弔慰及奬學資金寄贈芳名（第二十二回續き）

一金壹圓宛　浦田弘道　赤羽貞一　一番ヶ瀨敦　土屋義幸　吉田龍雄

一金參圓　太平通一の一三　浦上申三

一金參圓　慶北尙州公立普通學校　職員一同

一金貳圓五拾六錢　同　生徒一同

一金五圓　南山町三丁目一　中原靖勝

一金拾圓　忠南大田公立尋常高等小學校　職員兒童一同

一金五圓　新義州府本町　増田光平

一金四圓　江原道江城公立普通學校　職員生徒一同

一金參圓　元山公立尋常小學校　職員　和田梅一

一金壹圓

一金參圓　大邱公立尋常小學校　花田金之助外職員一同

一金五圓　大田中學校長　關本幸太郎

一金五圓　平安北道義州　藤川利三郎

一金參圓　同　秦秀作

一金壹圓宛　佐藤政次郎　佐野高藏

一金參圓　平安北道江界城内　足立長吉

一金五圓　密陽第四公立小學校　木阪通一外八名

一金壹圓　永登浦　加藤朝二

一金貳拾圓　京城　中村再造

一金參圓也　某氏

▲金五拾錢也横山岩▲金壹圓也陳内儀三郎▲一金壹圓也朝山健士右黒清治▲一金五拾錢也能勢千代▲一金壹圓也影平篤介▲一金五拾錢也納千太郎▲一金五拾錢也宇田川宇一▲一金五拾錢也西河仙次▲一金五拾錢也若田和平▲一金壹圓也平田勘平▲一金五拾錢也渡邊惣次▲一金壹圓也塚原啓太郎▲一金五圓也大走藤市▲一金貳圓也堀井義之輔▲一金壹圓也久保佐作▲一金貳圓也林田力松▲一金五拾錢也依田長吉▲一金壹圓也船岡龍次▲一金壹圓也鈴木利三郎▲一金壹圓也福田又四郎▲一金五拾錢也水野松次郎▲一金五拾錢也山口興平▲一金五拾錢也泉谷米太郎▲一金五拾錢也菅原芳吉▲一金參拾錢也無氏名▲一金五圓也北村道三郎▲一金參拾錢也光井鶴次▲一金壹圓也小野遊二▲一金五圓也林太郎▲一金壹圓也中谷稔藏▲一金貳圓也堀内德次郎▲一金壹圓也中井常藏▲一金五拾錢也齋藤實治▲一金貳圓也仲谷熊太郎▲一金參拾錢也岩井幸吉▲一金參拾錢也勿那質▲一金壹圓也森山朝乃▲一金五拾也宮崎唯雄▲一金參拾錢也勝見嘉吉▲一金參拾錢也辰元こめ▲一金參圓也上原友太郎▲一金一圓五拾錢也加藤つね▲一金壹圓也大川岩市▲一金參圓也井出與平▲一金貳圓也關野清八郎▲一金五拾錢也橋本米太郎▲一金壹圓也菊地䖝吉▲一金壹圓也岩澤郁郎▲一金壹圓也橋本友三郎▲一金壹圓也江口英二▲一金五拾錢也棟近豐松▲一金參拾錢也吉川富吉▲一金壹圓五拾錢也松井佐七▲一金壹圓也原富一▲一金參圓也阿部貢之助▲一金壹圓也三浦好吉▲一金參拾錢也蓮田猿之助▲一金壹圓也本庄蒔雄▲一金五拾錢也横室林次郎▲一金壹圓也谷野清松▲一金五拾錢也吉田茂七▲一金參拾錢也山下宗助▲一金壹圓也小林辰之助▲一金五拾錢也萩野正市▲一金五圓也正木岩三郎▲一金壹圓也出内佐太郎▲一金貳拾錢也加藤小太郎▲一金貳拾錢也原田屋助▲一金貳拾錢也矢野佐兇▲一金貳圓也越智佐六▲一金壹圓也一色城治▲一金壹圓也菅沼福太郎▲一金貳拾錢也八木▲一金五拾錢也谷本和平▲一金五拾錢也塚本耕平▲一金五拾錢也小野時太郎▲一金八十錢也大西松太郎▲一金五拾錢也秋山勝太郎▲一金壹圓也中川馬太▲一金壹圓也岡野利三郎▲一金壹圓也上森楠治郎▲一金五拾錢也元町學校生徒上森治▲一金壹圓也玉井萬藏▲一金五拾錢也内田半次▲一金五拾錢也竹本辰治▲一金五拾錢也矢貫定一▲一金五拾錢也佐々木辰次郎▲一金壹圓也浦野光一郎▲一金貳拾錢也小林喜彦▲一金參拾錢也井上保榮▲一金貳拾錢也松村常二郎▲一金五拾錢也竹下倉之助▲一金壹圓也谷口岩次郎▲一金壹圓也牛尾運平▲一金壹圓也大阪屋國松之助▲一金五圓也齊藤治平▲一金五圓也金子與市▲一金貳圓也石井靜子▲一金貳圓也三並美一▲一金壹圓也青山商會▲一金貳圓也山下菊二郎▲一金壹圓也こまや店員一同▲一金參圓也岩田千春▲一金壹圓也エム蔦屋館▲一金壹圓也關根三重郎▲一金壹圓也浦上眞一▲一金壹圓也相增藏▲一金壹圓也長島磐▲一金五拾錢也平澤市太郎▲一金壹圓也吉田又藏▲一金五拾錢也末富洋服店▲一金參圓也橋尾信一郎▲一金五拾錢也松田榮之吉▲一金壹圓也浦原芳太郎▲一金五拾錢也大江正一▲一金參拾錢也東鶴松▲一金壹圓五拾錢也中村市太郎▲一金參圓也眞木忠太▲一金四圓也野崎菊次郎▲一金壹圓也遠藤織平▲一金參圓也補田長藏▲一金壹圓也小淵小三郎▲一金貳圓也佐々木清一郎▲一金貳圓也寺本文治▲金壹圓也白川▲金壹圓也山下注連雄▲一金壹圓也因幡清松▲一金壹圓也山崎孫助▲一金五拾錢也師星つた子▲一金壹圓也飯野吉藏▲一金貳圓也小川清▲一金壹圓也佐藤晨治▲一金參拾錢也太田時哉▲一金壹圓也大橋義雄▲一金壹圓也龜田正▲一金參圓也村松武八▲一金壹圓也村松貞太郎▲一金壹圓也村松富次郎▲一金壹圓也村松金之助▲一金參拾錢也井手トモ▲一金五拾錢也背板龍男▲一金五拾錢也淺野善彌▲一金參圓也天野清▲一金壹圓也天野せき子▲一金五拾錢也柴崎德次郎▲一金參拾錢也西上フデ▲一金五拾錢也馬場喜十郎▲一金參拾錢也池邊はる▲一金壹圓也楠安正▲一金貳圓也淺野又男▲一金壹圓也淺野龍男▲一金五拾錢也淺野義男▲一金五拾錢也淺野文男▲一金貳圓也龍山貯畜組合▲一金貳圓也金應純▲一金壹圓也洪淳敏▲一金壹圓也康煥朝▲一金五拾錢也李相俊▲一金五十錢也洪淳鎬▲一金五拾錢也康興杓▲一金五拾錢也尹昌植▲一金壹圓也金鍾洙▲一金參圓也北川重吉▲一金參圓也阪西德藏▲一金參圓也塚崎兼作▲一金貳圓也東山芳彌▲一金五拾錢也富井みつ子▲一金五拾錢也藤野丈太郎▲一金參圓也松下健▲一金五圓也植西源五郎▲一金五拾錢也齋藤モト▲一金四拾錢也珊和アキ▲一金五拾錢也綠下ヤス▲一金五拾錢也柴田國市▲一金五拾錢也田下留助▲一金五拾錢也姫野松江▲一金五拾錢也白井長敏▲一金參拾錢也川本關松▲一金參圓也吉田政次郎▲一金壹圓也竹谷杉松▲一金壹圓也兒玉ワカ▲一金五拾錢也渡邊アサ▲一金五拾錢也林卯吉▲一金貳拾錢也今福アキノ▲一金壹圓也池田長作▲一金壹圓也山之口榮五助▲一金五拾錢也金澤福太郎▲一金七拾錢也高田重太郎▲一金參拾錢也原熊吉▲一金參拾錢也西山富助▲一金五拾錢也部野馬熊▲一金五拾錢也服部秋吉▲一金壹圓也宮崎宇一郎▲一金壹圓也岡山本莊吉▲一金參拾圓也執行孫太郎

小計金七百拾貳圓四拾壹錢

累計金五千百壹圓參拾七錢五厘

皮膚科 外科 專門　京城太平通一丁目　扇田醫院　電話二一五八番

書畫用 絖畫絹　京染呉服商 たまや出張店　京城永樂町　電一一九〇

新刊紹介（到着順）

▲朝鮮及滿洲（新年號）滿鮮に於ける時事問題を論議し名家の寄稿も多く又趣味の方面に於ても内容頗る充實せり（五十錢京城旭町一の一四書社）

▲朝鮮公論（新年號）朝鮮を中心とせる時事問題の論評及び名流の執筆せる硬軟兩様の記事極めて豐富にして其他趣味なる記事も滿載す（五十錢京城太平町其社）

▲少年倶樂部（新年號）壯烈、愉快なる讀物數十篇活氣横溢せり（二十三錢、東京大日本雄辯會）

伯林政局一變

【伯林來電】に依ればエーベルト政府[illegible]スパルタカス團の勢ひは益激烈となり[illegible]合する時はエーベルト政府は早晩顚覆すべき運命にありと近スパル[illegible]は最近政府より脱退し多數社會黨員入りて之に代れり右はリープクネヒト一派の勢力旺盛に赴み[illegible]くの[illegible]なりしを以てエーベルト内閣は[illegible]に關し外電の傳ふる所は[illegible]有り得べき所なりと或向きにては[illegible]の若し不幸にしてヴェルサイユ會議の結果國際聯盟の成立を見ず依[illegible]の競爭の勢ひを増加する[illegible]長官は更に[illegible]委員會に於て戰後は米國海軍の大西洋及び太平洋の二大艦隊に分ち常時兩艦隊の[illegible]

仁川期米

七日後場　當限出來不申　▲中限一節三十二圓六十錢五錢平均値六十三錢四節七十錢　▲先限一節三十四圓二十五錢九錢[illegible]

仁川米豆取引所　七日の三月限　寄付　三十四圓二十五錢[illegible]

登録商標

かゝる人は必ず試みよ

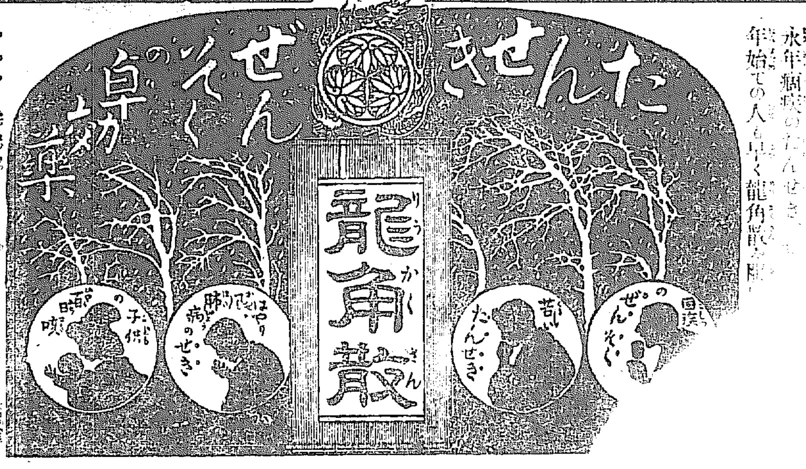
◎たんにて常にゴホンゴホンと惱む人
◎ぜんそくにてゼイゼイいき切する人
◎せき頻りに出て夜中オチオチ眠り兼る人
◎流行感冒より起るたんせきの人
◎肺病にて常に力なきせき出づる人
◎たん臭氣を帶び時々血の交る人
◎百日ぜき又はしかせきの小兒
◎音聲のかれ又咽喉のいたむ人

龍角散は香味爽やかにて服みよければ如何なる藥嫌ひの人、子供にも適し。服む度びに精神ハツキリと蘇生せしめ。咽喉の苦しみを除き。數年頑固のたんせき・ぜんそくも痰を瀉やうに自然と快癒せしむ。

定價　三日分 二十錢　一週分 四十錢　二週分 六十五錢　一月分 壹圓卅錢　無効 送料

本舗　東京市神田區豊島町　藥劑師　藤井得三郎　電話神田二〇七八　振替東京九一一番

取次　全國各藥店にあり本舗へ御注文は振替又は爲替及切手代用に願上候



ただ見
嚴寒さ[illegible]ました、昨[illegible]
ぜんそく[illegible]
肺炎、肋膜[illegible]
肺結核[illegible]
永年痼疾のたんせき[illegible]
年始ての人も早く龍角散を服[illegible]

謹賀

●麻病梅毒新劑の發見

内務省衛生試驗所長藥學博士[illegible]帝國醫科大學病院[illegible]大阪醫科大學校長[illegible]等を始め東西各醫學大家の分析報告なりとして世界の學者の驚嘆に値する[illegible]

りん病は一毒[illegible]

は凡て吾が商會が多年研究に研究を重ね成功せるものみなり[illegible]世界最新の學説を[illegible]

請合 りん病藥　ばい[illegible]

特製 壹週間分 參圓　二週間分 [illegible]　小包送料貳拾錢

無効 返金 百[illegible]

右新劑痳病藥は治痳劑として徽毒藥は駆徽内服藥として、方今世界に於て卓絶せる効力有りと賞揚せられ東京、京都、九州、帝國醫科大學病院等にありて衛生試驗所の出願目に非ずして斯界の學士、博士の前に斷言す、を主藥として製劑しある事を保證す、すべるを憚らず何人にても分析の結果前通の證金百圓を進呈す。あらゆる治療法を講じて尚効無き患者諸君よ、更に角最後の手段として一度當商會へ來れ、根治法を懇篤に教示す

●無効の時は返金す。

●本劑は他店に無し直接申込みあれ照會は返信料添付の事。

●右廣告記事に大阪區裁判所檢事局に於て縷々質問せられ一々詳細に明答して闘し前にも本商會の廣告には一言半句と雖も假なし僞なし、彼の幾多無稽の妄說を掲げて得々たる山師的ドラッグ商會の廣告の類に非らず賢明なる讀者諸君も須らく干石混淆する勿れ、近來各地に僞ドラッグ有り藥品の詐欺廣告に付、御取りの際御注意を乞ふ。表裝に『有田製』の文字無きものは僞物に付御注意を乞ふ

本舗　大阪合資會社ドラッグ商會

花柳病 專門藥房　京城南大門外停車場通り　ドラッグ商會 滿鮮本部　長電話二五六七番　振替口座京城四六七番

支店　●京城黄金町三丁目電車通　●釜山大廳町二丁目　●元山本町三丁目　●平壤櫻町一一二　●仁川宮町二丁目

▲大連、青島 江原丸[illegible]　▲鎭南浦[illegible]丸　▲海州[illegible]　▲木浦[illegible]

本舗京城南大門[illegible]　釜山佐藤町　元山海岸通　仁川代理店　木浦代理店　京城荷揚取扱　[illegible]

其他各寄港地に荷客取扱店